京城日報
十二日夕刊
定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

○露政府食糧專賣案提出

露國農務大臣シンガレフ氏は下院に於て糧食專賣案を提出し多勢の贊同を得たり(露都電報)

○麵麭專賣愈々實施

露國農務大臣シンガレフ氏は食糧品の給給の爲め麵麭の專賣案を下院に提出せしに各議員は之に贊成したれば近く實施さるゝに至るべしと(長春特電)

○露獨單獨講和は夢想也

露國法相の言明=但平和は希望す

獨逸社會黨首領タウチド氏は議院に於て露獨單獨講和問題に就き宣言して曰く露國新政府の外相ミリユーコフ氏並に其の黨派は等しく著名なる排獨派の人物なり司法相ケレンスキー氏及び露國下院議員チハス氏のみは望を嘱するに足るべしと語りとの報あり是に對しケレンスキー法相は新政府の機關新聞記者大會に於て言明して曰く獨逸の社會黨首領タウチド氏は露獨單獨講和問題に就て吾等に望む所ありたりと言ふは是即彼の夢想なり若し獨逸も今度の戰が革命政變に倣ひてカイゼル獨帝退位する事あらば是に對する計畫はなきに非ずと要するに平和の希望は露獨共に之なきにあらず(哈爾賓特電)

○露國新政府の聲明

露國新政府は聲明して曰く『露國政府交戰の目的は領土獲得に非らずして暴戾なる獨逸を膺懲するを以て第一義となす』云々(奉天電報)

○東淸鐵道長官留任

東淸鐵道長官ホルワット中將は逐次新政府に對し老齡の故を以て辭表を提出したり然るに新政府は戰爭終局する迄留任すべしとの電命ありたりと(哈爾賓電報)

○原總裁と選擧

原政友會總裁は頃日戰秘密の漏洩を恐れ新聞通信記者に對し選擧豫想だに發表するを肯せず(東京電報)

○憲政公認候補數

憲政會は第六回公認候補者を十二日を以て發表せるが之れにて總員二百五名となれり(東京電報)

○鐵工業者打擊

鐵材の輸入杜絕せし爲め下半期の造船業鐵工業の打擊甚大なり(大阪特電)

○宮相皇陵巡拜

波多野宮相は十二日大阪府下の各皇陵を巡拜せり(大阪特電)

○日郵新重役

日本郵船新重役は片岡直溫、松方五郎、井上剛の三氏に決定せり(東京電報)

○早川經理部長

第十九師團經理部長陸軍二等主計正早川漢氏は十一日午後八時三十分釜山出港連絡船さくら丸に乘船上せり(釜山特電)

○前田大佐

釜山滯在中の前田大佐は十二日對馬山に向へり(釜山特電)

○滿鐵出張所長

南滿鐵道會社哈爾賓公所々長庄司鐘五郎氏は十一日午後九時三十分釜山入港連絡船壹岐丸より上陸同十時三十分發南鮮通列車に搭乘北行せり(釜山特電)

○原田朝郵社長歸鮮

原田朝鮮郵船會社長は十二日朝入港の高麗丸にて釜山著同十時三十分發列車にて京城に向ふ(釜山特電)

●總督平壤巡視

十一日午前九時五分長谷川總督は旅館柳屋を出で工藤長官と自動車に同車し宇佐美內務部長官古海財務部長坂出平南警務部長新藤平壤警察署長高橋武官大島副官三浦中尉第二第三の自動車に分乘し平安南道廳に向ふ道廳前に於て在勤諸官吏の出迎へを受け直に階上に於て平壤在住官民代表者に接見し終りて工藤長官は管內狀況を約一時間に亙りて詳細なる報告をなし篠田部長と交々場內に陳列せる物產米穀、大豆、大麻、蠶繭、古器物、古墳の說明をなすや總督は一々

▲熱心に聽取 する處あり續て各課の巡視に移り第一課長室より地方係りに至り長尾主任の地方係所管事務に關する說明を聽取したる後學校係に於ては[illegible]に關する說明を聽取し[illegible]總督は朝鮮人貯蓄狀況に對する質問をなし學務係山崎主任は學務宗教に關し簡單なる說明をなし總督は朝鮮人就學兒童の狀況に對する質問を發し終りて道廳前噴水地橫手に高さ三尺餘りの松の記念植樹をなし午前府廳に向へり時に午前十時三十分

▲平壤府廳 に於ては本田府尹約四十分間に亙り管內府行政區劃、戶口、敎育宗敎、社會事業、屠畜墓地及び火葬場、種痘、傳染病豫防機關、警備、慈惠及び救濟、恩賜授產、第一期二期繼續土木事業、市區改良調査、貿易、金融、最近事業勃興の狀況、租稅公課負擔の狀況、府及び學校組合の財政、府行政補助機關の設置平元鐵道大同江架橋問題に關し最も詳密なる報告說明をなしたるが總督は頗る熱心に聽取され次で庶務、稅務、各主任の所管事務の報告を聞き午前十一時廿分平壤中學校へ自動車を驅りたり

▲平壤中學校 に於ては校長以下職員及び本年入學したる第一學年生徒全部の出迎を受けて校長室に入り赤木校長より一般狀況を聽取したる後校長の先導にて各敎室を巡視し正午十二時旅館柳屋に入れり午後一時三十分總督は平南

▲警務部著 瀧警務部長より管內の狀況報告を受けたる後各課を巡視し午後二時自動車を瑞氣山公園に馳せ山上より平壤全市を展望の後

▲三十九旅團 司令部にて市川旅團長より軍務の狀況報告を受け午後三時步兵第七十七聯隊に向ひたるが之より先き聯隊に於ては二個大隊の步兵營庭に整列し總督一行の到著を待つ間程無く一行を乘せたる自動車は砂塵を立てゝ營門に到著指揮官の號令にて捧銃の敬禮をなす中を總督は擧手の答禮をなしつゝ閱兵され次で一部の兵舍炊事場酒保の巡視あり最後に將校集會所に於て各將校の伺候を受け午後四時公立

▲平壤女學校 を巡視上野校長より學校の事業を報告あり刺繡作文習字繪等を巡閱し『ナカ〳〵大の大きのや小さいのがある樣な程度で大概卒業するか』と質問あり殊に校長室に懸けたる同校生徒の日本畫をば熱心に熟視されたり午後四時三十分

▲平壤慈惠院 に於て內村院長代理大河內醫官の病院現狀報告を聽取したる後各病室を一々巡視され施療部にて大河內醫官に向ひ患者は何人程居るかと質問され大極殿に入れり小憩の上午後五時[illegible]旅館に入れり

▲道廳に記念植樹 長谷川總督は十一日平安南道廳構內に高さ三尺餘の稚松を親ら巡視記念として植樹したり

▲お牧茶屋で午餐 長谷川朝鮮總督は十二日午前十一時牡丹臺お牧の茶屋に於て工藤長官、烏山覆審法院長松寺檢事正勅使河原地方法院長關口檢事正本田府尹市川旅團長野島聯隊長瀧警務部長張憲與官水谷寺洞鐵業所長篠田道一部長富永二部長等と午餐を共にせり(平壤)

●總督一行動靜

長谷川總督一行は十二日正午平壤出發寺洞に赴き平壤鑛業所視察の上更に平壤に引き返へし同夜は同地に宿泊十三日朝鎭南浦に向ふ可し

●赤字功勞表彰

左の諸氏は日本赤十字社業上の功勞又は篤志により今回各頭書の如く表彰せられたり

有功章御授與 慶川 李根宇
同 同 鄭然昌
特別社員推薦 淸州 井茂三郎
同 慶川 金商雨
同 光州 浦野丈藏
同 全州 中司征
木杯一個贈與 淸州 田中遯

●業務傳習生卒業

遞信業務傳習生養成規則に依り遞信局に於て養成中なりし通信乙種傳習生三十三名卒業試驗に及第者に此の程卒業證書を授與されたり

●判任見習試驗

判任見習試驗受驗希望申込者は十二日午前十時より倶樂部に於て體格檢査を執行せり今回の受驗人員は內地人百四十五人、朝鮮人百一人、合計二百四十六人にして筆記試驗は十五日午前九時より京城中學校に於て擧行の筈なり

●山形少將出發

前任警務總監部高等警察課長山形少將は家族同伴十二日午前八時三十分南大門驛發列車にて歸東の途に就けり驛には警務總監部及び憲兵隊司令部を始めとし官民婦人等無慮二百名の見送りありて頗る盛觀なりき

▲釜山乘船期 前總督府警務總監部高等警察課長山形少將は十二日夕釜山鎭著列車より下車直ちに東萊溫泉に赴き同地一泊翌十三日午後釜山に來り同六時出港の御用船安平丸に搭乘家族同伴歸東の途に就く豫定なりと(釜山)

●松永長官出張

松永京畿道長官は十二日高川郡管內一般狀況視察の爲め出張せり同日午後歸任す

●中島大佐著任期

名古屋憲兵隊長より朝鮮駐剳憲兵隊司令部附となり全州憲兵隊長に任命されたる中島憲兵大佐は來る十五日釜山著赴任の筈なり

●原田社長歸京

東上中の原田朝郵社長は十二日午後九時南大門驛著列車にて歸京すべし尙ほ川田文書課長も社長と同行すと

●山內寅吉氏逝去

曾て本社に在り理事として多年社業に盡す所ありし山內寅吉氏は大分縣武藏町に於て病氣靜養中の處去八日同地に於て終に逝去せり葬儀は追つて東京四谷區荒木町二十七番地八の二號居住の令息山內一郎氏によりて營む事となる可しと

●全道隊長會議

總督府警務總監部にては每年一回四月の交に於て全道の憲兵隊長警務部長を召集して隊部長會議を開催せるを恒例とせるが今年は長谷川總督著任の爲め一月早々臨時會議を開きたる結果恒例會議は今少し遲れて開催するやも圖られず目下の所未定なりと

●府公園と田村林學士

景園界の重鎭たる東京農科大學講師林學士田村剛氏は昨年末より本年一月に亙り京城府囑託として南山公園景園計畫事業に盡力し來れるが今般滿洲方面へ出張の途次入京滯在南山公園其他景園計畫の打合淸雲洞の庭園整理實地調査等を了し十二日夜北支那滿洲方面へ向け出發すべしと因に右淸雲洞の庭園は目下津田鎚男氏の所有に係り近く府設の公園として公開せらるる筈なりと聞く

●鮮銀新株店引

鮮銀新株三萬株の應募狀況に就ては既報を揭げしが其の導入が如何なる數字によりて內地朝鮮滿洲の各地に分れ居るかを見るに左の如し

取扱店別	募入株數
東京支店	六二二五
小池商店	四三三六
野島商會	四三二〇
紅葉屋	五六八〇
東京藤本	一七二八
東京若山	二一二
名古屋一銀	四六九
名古屋藤本	七二六
京都一銀	一四〇七
大阪支店	一八〇三
大阪藤本	三五六五
大阪野村	四七八七
浪速銀行	一四五二
神戶支店	[illegible]
下關一銀	[illegible]
京城本店	一七八八
平壤	六二
仁川	二四四

取扱店別	募入株數
元山支店	一五
大邱	六二
釜山	二七一
南浦	四五
群山	九二
木浦	八三
馬山	七七
新義州	二五〇
會寧	—
安東縣	二五
奉天	七〇
大連	三四〇
長春	[illegible]
開原	[illegible]
哈爾賓	[illegible]
合計	三〇〇〇〇

右の如くなるが募集新株式募入割增金總額は九十一萬八千百五十六圓にして一株の割增金平均は三十圓六錢五厘に相當する計算となる乃ち鮮銀は新株の募集により九十一萬八千圓の積立金を增加せし譯なり因に最高のプレミヤムは五十五圓にて十株の申込みありしと

●平壤經濟狀況

米穀は三月に入り內地相場尙軟調なるに反し鮮米需要に依り內地相場の上騰を示し露國需米用粗の荷動き相當ありし外他の取引は常用口に止まり手持筋比較的強硬を持して商內捗々しからず雜穀取引亦々あれども出廻薄にして閑散なり牛皮は露國革命勃發し軍需品の前途氣遣はれたるも最近製品引渡立契約成ると共に相場昂騰を告ぐるに至りしも手持品薄にして大口商內少なく商況振はず綿糸布類は一時氣配鈍狀ありしが米棉反撥は更に人氣引立ち季節柄賣行頗る良好なると既に夏向品仕入期に際し金融界多少の影響を受け稍資金の需要を見しも尙大勢を動かすに至らず依然緩慢なり地金は氣溫三月中旬以後俄かに溫暖となり解氷と共に採鑛業益々旺盛を極め石金の出廻り逐日增加し來れり三月中平壤出廻金塊は二十八貫百三十九匁にして價格十一萬二百八十八圓前月に比し數量に於て十四貫八百匁金額に於て五萬三千七百圓の增加を示し二倍以上の好況なり尙四月に入り地金銀の出廻は一層の加增を見つゝあるが之等鑛業資金の散布多かるべく又一面諸工事夏物仕入等の爲幾分資金の需要を喚起すべし(平壤)

●前田警察課長

新任警務總監部高等警察課長前田大佐は十一日午前來釜同夜は釜山官民の催に係る送別宴に臨み十二日午前十時三十分發北行列車にて馬山鎭內を經て一旦晉州に赴き後任者に事務引繼を終へ京城に歸任する由なるが晉州出發日時は未定なりと(釜山)

●毛織物の近況

[illegible]毛織物は總計約八十七萬圓に上り[illegible]世上所傳せらるゝ如く高價ならず[illegible]入荷せし由

【仁川】

▲林講師著任 仁川商業專修學校囑託英文講師林議齋氏は十一日著任▲高島大陽氏來仁 朝日易斷協會創立者高島大陽氏來仁朝日屋旅館に會場を設け易斷講究並に強健術を施術する由

【春川】

▲守備隊軍旗祭 來る四月十八日は春川守備隊(步兵第七十九聯隊第二大隊)軍旗拜受第二回記念日に相當し同日午前十一時より隊內に於て祝典擧行の筈なるが松大隊長は十日重なる官民在鄕軍人分會員其他へ案內狀を發したり▲市區改正工事著手 春川邑第二回市區改正工事入札は去る七日春川に於て執行したるが昨年五里津線の一部春川邑上泉田間の道路改修工事を無事竣成したる小野滿一氏に落札し竣功期間は四月十五日より七月十四日までなりと▲四國縣人會 春川在住四國縣人は去る八日日曜日に春川の勝地昭陽亭に於て園遊的家族懇親會を催したるが來會者男女老若五十餘名却々盛會也き▲大神宮例祭 來る十五日は鳳儀山下春川大神宮の例祭日なるが本年は神殿其他新築中なるを以て祭典及び一般餘興を取止め市民は神燈を揭げ敬意を表すべし

【淸州】

▲淸州組合議員選擧 淸州學校組合にては十日午前九時より同會議務所に於て組合會議員二名の補缺選擧を行ひたるが選擧有權者總員三百三十名の內投票者數百四十餘名に達し當地空前の選擧運動起りて豫想外の活況を呈したり午後四時締切開票の結果大塚鐵造栗山眞則兩名當選したり▲長官出張 柳忠北道長官は地方事務視察のため立野郡部に向ひ南道書記を隨へ九日淸州發沃川報恩兩郡に向ひたり▲事務官歸任 過般大正六年度豫算案を攜へ本府に出頭中なりし忠北道事務官石丸鐵三氏は十日正午歸任したり

【釜山】

▲慶南新嘗祭獻米 各道より奉獻すべき新嘗祭供米は各道順番を以て定め其道內に於て名望ある特長者中より選拔して奉仕の下命を受くる筈なるが本年は恰かも慶尙南道が當番なるを以て慶尙南道長官の照會に因り若松釜山府尹は適當者を物色の結果釜山鎭佐谷滿太郎を推擧し同氏所有の畓中より獻穀田を選定されんことを道長官に復命したるより道廳より佐々木一部長及び石井技師は實地檢分の爲め十一日來釜し府廳と打合をの上十二日現場を視察す而して此光榮ある奉仕を命ぜられんとする佐谷氏は曩に總督府より特農家として表彰されたる人なり▲滯貨三千五百噸 釜山棧橋に於ける停滯貨物は近時天候回復の爲め漸次順調に運びし爲め漸次減退し十一日現在の停滯貨物は米穀及び滿洲より連絡し來れる大豆粕等約三千五百噸內外なるが當分は此以上の停滯を爲すことなかるべし▲上旬米穀賣買出來高 本月上旬に於ける釜山米穀市場の賣買出來高は玄米一萬四千八百五十三個にして一石平均最高十三圓十錢最低十二圓三十錢內日本種最高十三圓四十錢最低十二圓七十二錢小麥一百二十五個價格九圓七十錢大豆一千四百四十個價格最高八圓五十五錢最低八圓十錢合計一萬六千四百十八個なるが相場は前月に比して保合の姿なりと▲釜山經由輸移出生牛 釜山經由輸移出せる朝鮮生牛の狀況は前年同期の一千六百三十九頭に對し約百頭を增加し價格は約二割を增し一般良好の結果を示せるが現在檢疫所に留置せる生牛は一千一百五十九頭にして價格は一頭平均大四十五六圓、小二十五六圓より七八圓の割合なり

人事消息

▲戶川釜次郞氏(八幡戶川商會主) 十二日朝入京
▲[illegible]氏(成興地方法院檢事[illegible]) 同上 不知火へ
▲[illegible]氏(光州地方法院判事) 同上不知火へ
▲木邑謙次郞氏(入京社員) 同上天眞樓へ
▲土谷榮太郞氏(成興地方法院檢事) 同
▲竹村昌計氏(成興地方法院判事) 十一日夜入京不知火へ
▲石川留藏氏(同檢事) 同上山本旅館へ
▲中村長五郎氏(全州地方法院檢事) 十二日朝入京
▲國口直氏(成興法務員) 同上
▲岡野法學博士 十一日午後七時仁川より入京
▲朴泳孝侯 十一日午後大邱より入京
▲京城駐在露國總領事 十一日午後五時より歸京
▲[illegible]氏 十二日

逐鹿夜話

▲福島縣の元代議士憲政會の堀江覺治君は今回の總選擧には當然公認候補と獨できめて居ると藤澤幾之輔君の妹婿の湊芳藏君が憲政會の公認候補となつたので堀江君怒るまい事か烈火の樣になつてよしッ其れなら己にも覺悟があると自分の地盤全部をそつくり政敵たる國民黨の近藤達兒君に讓つたので驚いたのは湊君キク〳〵したのは近藤君之れも選擧中の喜劇の一とつ

▲喜劇と云へば東京は淺草の黑船町に『小生は伊藤仁太郎(痴遊)君に投票す他の候補者及び運動員は門內に一步も入るを許さず』と大きな貼札をしてある家がある此の有權者は例の曾我廼家五九郎閣下であるから面白い選擧でも濟だらお手前ものの喜劇にでも仕組む積らしいとは相も變らぬ五九郎式

▲伊豫宇和島の憲政會候補者今西と云ふ人の推薦演說會に現はれたのが元の憲政の神尾崎行雄君の吹込蓄音機『諸君之から尾崎先生の御演說が』とカ事で紹介に及んでイザ之からと云ふ時蓄音機が演壇からコロゲ落ちたので一座の連中落選の辻占ではないかと氣勢忽ち悄然

▲若松市から名乘を揭げた國民黨のドクトル渡邊鼎君は古い自由黨員だが其の政見書には『ふる亞米利加に袖は濡らさじ』とか『奧羽人は世間から一山百文と言はれ』など頗る振つたものだ

▲此頃東京では憲政會、政友會、國民黨中立と何れもお好次第と云ふ演說草稿を長短二種宛活版刷りにして賣り廻つて居るものがあるが歷々の候補者は此御厄介にはならぬが田舍方面からはソット郵送依賴をして來る者も多い相な

○米國徵兵氣勢昂る

米國內に於ける強制徵兵の氣勢今や增進せり(桑港電報)

○華盛頓爆破陰謀

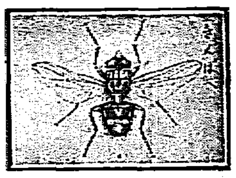
恐る可き手段に依り華盛頓政廳爆破の大陰謀偵探の間に劃策されつゝあり米國官憲の警戒目下嚴重を極む(桑港電報)

○伯獨國交斷絕

伯剌西爾と獨逸との外交關係は斷絕せり(倫敦電報)

○勃米國交斷絕

勃牙利國は米國との國交を斷絕したり(倫敦電報)



蠅退治(三)

▽塵芥箱の底を完全にせよ
▽蛆から蛹とならぬ間殺せ

總督府醫院醫官 小林晴治郎氏談

恐ろしい蠅が此の頃の陽氣に飛び出した、今のうちに殺せ、今のうちに殺せ、蠅は恐るべき人類の敵である、小林醫官のはなしを一つ紹介する『元來蠅は吾人に最も

▽親しい動物 の一つであるけれども其の習性發育等に關する知識は此の十數年前まで知られなかつた、蠅が卵から白き蛆になり更に不潔物の中で蛹になつて飛び出すことは近年まで知られずに居た、蠅について最初に研究した人は米國のハワードといふ人でそれからだん〳〵蠅に關する

▽書物が出來 其習性發育等は素より恐るべき病毒傳播のことまで詳しく研究さるゝやうになつた自分が去る四十一年以來日本產いへばへに就いて研究したことは明治四十二年八月の動物學雜誌及び大正二年二月、三年四月の細菌學雜誌上にて發表した、しかし自分のは動物學的方面の研究で

▽病毒傳搬の 關係にはまだ一指も染めてない、朝鮮では警務總監部の原親雄氏が熱心に蠅と赤痢との關係を研究發表されて居るが兎に角蠅は總ての病毒をうつするので仔細に觀察すると實に慄然たらざるを得ぬのである、由來蠅の如き昆虫類は其の生涯に三時期があつて前述の如く

▽成長の期こ 變形期と生殖期の三期がある、そこで發生の場所からいふと第一溫度の高低にもよるが卵から孵化した蛆の發育する食物の多き所、即ち馬糞、人糞、塵芥溜場、魚肉、牧草等が最も適當な場所である、更に蛆から蛹となる時は稍々乾燥したる

▽場所を好み 猶ほ冷涼なる物質を選ぶのである、されば塵芥溜場の周圍の乾きたる土中には塵芥箱中より匐ひ出したる蛆が盛んに蛹となるものである、されば塵溜の底を完全にして蛆の蛹化を防げるのも驅除けの一法であり且つまた附近の土に

▽藥品を注ぐ のも有效である、これについては東京の塵舟がその床下に集る幼蟲(白き蛆)を悉く海中にすてゝ魚の餌とするのもよいとであるが兎に角蛆を殺すは大切である、それから昇汞水の如き藥品は一向

▽幼蟲の驅除 に効力がな

×××××

○蠅は諸種の傳染病の媒介を爲す人類の大敵、今や蠅派の跳梁に先立ち小林細菌學者の一般的教訓を大に歡迎す(南米倉町エチ、エム生)○數年前今上陛下が東宮として京城に御成りの際京城の人は盛んに蠅を征伐した當時蠅を一合何錢かで買上げたこともあつたが中には鮮人の特志家で生きた蠅をメリケン袋一杯にもつて來た然るに警察で普通の値段で買はうとすると鮮人の曰く此の蠅はワザ〳〵苦心して生きたのを持參したから高く買つて貰ひたいとこれには警官も驚らされた(蠅嫌ひ生)○我輩は蠅を知らずに飲みこんで百日ばかり大病にかゝつたことがあるそれ以來蠅を見るとビク〳〵する(黃金町中川生)○夏になると鮮魚の刺身などには必ずくばへが卵をつける魚屋の店にさらしたものには特に注意すべし(仁川生)○蠅といへば夏の菓子屋の店にご偏の飛ぶものはないあれを見ると生菓子は衞生的な菓子屋以外のものは食べられぬ(市內衞生家)

南山一帶を一大公園に
朝鮮固有の山水風景美を重んじて

■來京中の田村林學士は南山公園の設計其他府の景園事業に盡力して居る、聞く所に由れば該設計は南山公園の基本調查であつて此の設計を全部實行するには

■少くとも十五六萬圓の經費と永い歲月を要するとの事、府土木係では其の一部分宛を實行し又た一般住民の希望を容れて一大森林公園を南山に建設し度いと云つて居る、田村學士設計の大體方針を聞くに

■京城園界淺近の趨勢と實際とに鑑み大體に於て森林公園樣式を採用し其の景趣は朝鮮固有の山水風景美と朝鮮固有の動植物美とを發揮する事に努め尙ほ

■朝鮮固有の歷史を尊重し奬忠壇或は老人亭一帶の建築物は特に園內建設物として保存修理し

■公園設計上には實用を重んじ婦女小兒の爲め新に遊戲、運動、保養等にも適する樣な所とする相である

■此が竣工の曉には奬忠壇南山漢陽公園邊りは宛然鮮土唯一の一大樂園と化する事だらう

革命記五十萬部を
獨墺軍中に=露國士官聯合會の壯擧

露西亞士官聯合會は過般の露國革命記五十萬部を獨逸語を以て編纂し多數の飛行機を利用して之を獨墺軍中に普ねく撒布せり(長崎特電)

死傷者四百二十餘名に達す
長崎縣神の浦芝居小屋火災の詳報

八日午後零時四十分長崎縣下西彼杵郡神の浦村江川鄉神の浦脇上手中洲地に興行中の浪花節の芝居小屋より發火し

▲多數の死傷者 を出したる事は既報の如くなるが續報に依れば實に稀有の大慘事にて九日午前十一時四十分迄に判明したる死傷者如左

△現場即死六十三名△歸宅後死亡十四名△現在重傷者約百四名△輕傷者約二百名△黑崎村重輕傷者約四十五名△合計四百二十六名

右の如くなれば出張せし醫師巡查及び同村吏員等は數組に手を分ち各部落に就き戶別訪問を爲し死傷者の有無を調查すると同時に一面應急手當を施しつゝあるが神の浦一帶は

▲宛然戰場の觀 を呈せり八日重傷者(溺死者と輕傷者を除き)は同村の三寺院を臨時假病院として收容する事とし各部署を定めて徹宵患者の收容及び手當に從事せり而して之等收容其他の雜用を辨せしむる爲め同村軍人分會員及び靑年會、消防組員等を召集して之に當てたり而して同村大野鄉は遠隔の地なるを以て收容を見合せ同地醫師永田要をして重輕傷者七十三名の主治醫に當ることゝせり尙十一日の調查に依れば死者八十名假病院收容百三十五名、自宅治療瀕死患者多數あり(長崎特電)

變造紙幣發見

奉天小西關雜貨商三盛永李占元(三〇)は去る九日午後二時同地の朝鮮銀行支店に到り十圓紙幣を以て同行の十錢紙幣に交換せんとせし處該十圓紙幣は日本銀行一圓紙幣の一の字を巧に十の字に變造せしものなる事同行員の發見する處となり總領事館警察署に於て取調の結果該變造紙幣は同所錢莊高悅長卯某が同日正午一人の支那人より代價八十錢の物品を販賣して更に九圓二十錢の剩錢を渡し全く事情を知らずして受取りたる事判明し目下犯人探查中なり(奉天)

米國軍需品工場爆發
即死者約一百名=獨探の所爲か

米國ペンシルバニヤ軍需品工場にては作業中爆發起り同工場建築物は悉く破壞され即死者約一百名を出せるが其大部分は女工なり原因は獨探の所爲と認めらる(桑港特電)

馬賊の群に投ぜんとして

を爲したるものなるが昨年十二月上旬間島方面にて馬賊を働かんものと[illegible]津に上陸し直に間島に向ひたるが途中會寧にて四五日間滯在し形勢を觀望して後間島に入込んと[illegible]

連絡船上陸客 十一日午前

八時釜山入港さくら丸(二等客)[illegible]

十一日午後九時釜山入港壹岐丸(二[illegible]) 橫地まつ、木村まつ、岡やの、矢野秋、岡國子、男英人一名、三等(二百六十名)

(懸賞文藝)課題及び募集規定

[illegible]

哈爾賓の復活祭
商店其他休業

哈爾賓にては十二日より十九日迄復活祭なるを以て商店其他一般の取引は休業すべく因に十五日は祭典祝日なり(長春特電)

訓鍊院の建物
は總督府醫院構內に建築

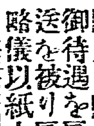
東大門小學校新設の爲め其の附屬地として訓鍊院取り除けに決し同建物は目下取り毁ち中なる事は本紙所報の通りなるが同院は日本赤十字社朝鮮本部附屬事業の看護婦養成所に宛つることゝなり總督府より本部に對して讓與あり本部にては之れを總督府醫院構內映畫殿前に建築し養成所生の寄宿及び講堂と爲す由にて五月末までには竣成の豫定なりといふ尙ほ同殿の扁額は之を總督府博物館に移し永遠に保存す可しと

本町署野犬狩
狂犬の出現と飼主の注意

京城本町警察署管內にては本年一月以降出現したる狂犬の數十頭にして之が爲め咬傷を受けたるもの十五名に達し尙此他畜犬にして咬まれたるもの多數あり尙ほ續出の模樣なれば同署管內にては十二日より向ふ三週間に亙り野犬撲殺を勵行する筈なるが此際一般畜犬飼養家にては相當警戒し畜犬を繫留し又は其他の方法にて畜犬の保護に努むべしと

買鑛係の橫領

平南平原郡肅川面館東里居住の池田元助(三〇)は元鎭南浦三和町原田鐵策氏方に雇はれ買鑛に從事中一月三十一日資金として雇主より交付されたる金五百圓の內即時百圓橫領して同町居住の追風鶴藏に借金拂ひをなし三月二十五日旅行先にて新安州稿田屋より懷中時計一個(六圓)を借り返さず次は平北宣川邑に赴きたる際同地の松本源五より自轉車一臺(七十五圓)を借りて平壤紅梅町宿屋元木辰造方の宿料の抵當に入れたる上逃亡中を鎭南浦署の手配に依り此程肅川憲兵分遣所の手に逮捕さる



十二日朝の南大門驛は山形少將の見送りで非常な雜沓△軍人官吏があり實業家があり愛國婦人會員あり夫人連ありそれにお孃さんのお友達まであらゆる人々が集つた△殊に送られる方では若いお孃さんが泣き出し送る方では千代本の女將が大きな眼に淚を浮べて居た△それに御愛嬌だつたのは少將と相棒の山口太兵衞さんがやつて來て俺の長尻相手が去るかとばかり感慨無量の面色であつた△支那領事館前和田ドクトルの櫻は每度返り咲きなどで問題になる櫻だがこの頃早や蕾が大きくふくらむで此の數日中には咲きこぼれ相になつた△誰れそれの騎り方は米國のプレベアドネスだとか某のは庄屋樣のやうだとか盛んに馬友達を冷評する權藤李王職事務官は此のうち水原の牧場で其の辯解に曰く『あれは風する種馬さん〳〵に味噌をつけた△ところがだつたので我輩なればこそ騎れたのだ』と△こんど南北滿洲視察團の大元老として出馬する岩田鳳眼齋老人は目下少々風邪氣味だがそれでも行くといふ大元氣△龍山から出發準備に來て筆をとつて曰く『滿洲を見て鬪屁等にはなしせぬ何れは春に限るなり』

釜山伏兵山の櫻=十一日貯水池の岸にて=

靑島に行つて金を撒く歐米人
今年は最うホテルと海水浴場が賣切れ

支那及び滿洲を視察して此程歸任した鮮銀靑島仁川支店長の談に依れば靑島は氣候が良くて海は明るく、海濱は白砂で遠淺であるから非常に感じの宜い土地であるが

◆獨逸時代には 此處に大々的に海水浴場の設備をして支那方面から盛んに浴客を誘引して居た爲め本年も既に三軒の大ホテルや海水浴場の脫衣場等は皆賣切になつて了た程の盛況である、靑島を避暑地として居る重なる土地は北京、天津、上海等で是等の土地に住む外國人は何れも

◆初夏から八月 末頃迄、靑島の海濱に暮らして、盛んに金を使ふのであるから土地の潤ひも多い相である(仁川)

高田賓の急須
一萬五千圓

十一日夜大阪にて高田賓所藏品入札を爲せり有名なる急須は一萬五千圓にて落札せり總賣上高十五萬圓なり(大阪特電)

鮮人組合の美擧 忠北陰城

忠北陰城郡金旺面無極里に於て金錢貸付を業とせる無極組合なるものありしが昨年六月都合に依り組合を解散したり其際時組合員協議の上從來の貸付未回收金一千二百餘圓及び抵當物不動產(時價約一千圓)を擧げて同地私立通明學校基本財產として寄附することゝなり尙後之が整理を爲しつゝありし處此程に至り漸く終了したるに依り三月末陰城郡廳に申出で庶務財務兩主任當局及び無極駐在所巡查の立合の下に學校長金思七に全部の引渡しをなしたる由

京城在住中は永々御懇情を蒙り奉銘謝候今回歸東に際しては御懇切の御待遇を被り辱く奉存候乍略儀以紙上御禮申上候

大正六年四月十二日

山形閑
同 廣子
同 八重子

愛婦記念品寄贈 愛國婦

人會朝鮮本部評議員として多年會務に盡力したる山縣少將夫人に對し朝鮮本部は山縣本部總長の謝狀に記念品を添へて寄贈し且つ十二日出發の節は多數役員の見送りありたり

商況

債券現物特電

十二日東京來着

東洋拓殖 六三、五〇 京城電氣 六三、〇〇 朝鮮銀行 一七六、〇〇 朝鮮瓦斯 一一九、〇〇 南滿鐵道 三三、五〇 [illegible]

公債直取引 東京

十二日出來値 五分利特別 九六、五〇 五分利甲號 [illegible] 四分利 八一、〇〇 二回四分 八二、〇〇 甲號五分 九六、一〇

深川正米特電

十二日現在高 內地米 [illegible] 朝鮮米 [illegible] 臺灣米 [illegible]

東京期米特電

十二日前場 寄付 [illegible] 高値 [illegible] 安値 [illegible] 止め [illegible] 五月限 一七、〇〇 一七、〇一 一七、〇〇 一七、〇八 [illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

十二日前場 寄付 四月限 九二、〇五 五月限 八九、五〇 六月限 八六、九〇 七月限 八六、三五 八月限 八六、〇〇 九月限 八五、九五 止め [illegible]

下關期米特電

十二日前場 寄付 一六、六〇 高値 一六、三〇 安値 一六、八六 止め [illegible]

天候雨期近利喰高案制 [illegible]

雜報

綿布値上と前途

綿商に人氣を刺戟したる綿糸界の突貫と伴つて十日前場の相場を手始めに翌十一日は更に株式高に終始し揭げ三品首限同日の後場止めは百九十三圓十錢の新高値に上り[illegible]

同事一粗布は三エー票 一圓二票一圓の値上發表 [illegible]

四五圓方の下稍 [illegible]

好況を呈し [illegible] 漸次順調に輸出向 [illegible]

需要激增し我が綿布界に好材料 [illegible] 米綿 歐洲方面の [illegible]

造に追はれつゝある一方綿布先約物の製 [illegible] 細地物の大缺乏 [illegible]

銅保合と時局 [illegible]

鑛力板突飛乎

[illegible] 報じ來れり當地又當業者各自の手持少なき折柄之に伴ひ値上げを見ん談様なり

更に一圓高 [illegible]

圓內外に突飛 [illegible] 輸入難にあらん近く六十 [illegible] 在品の拂底 [illegible]

哈爾賓市況活躍

[illegible] 常の盛況 [illegible] 秩序恢復し非 [illegible] 織物類の需用夥 [illegible] 五層倍に昂 [illegible] 交易上の便宜多 [illegible]

滯貨疏通せむ

[illegible] 差ご變動生 [illegible] 歐洲に於ける軍需品 [illegible] 需給調節自ら成り [illegible] 聲盛ん [illegible] 運銅 [illegible] 輸出 [illegible]

鮮內今後の托送申込は右滯貨一掃すれば 迄は送り得ざる條件を附し取扱 [illegible] 全部輸送には 四十餘日を要す [illegible]

亞鉛板新高値

[illegible]

十錢高の入電 浪平板共に大阪二 [illegible]

三圓を示現し浪板又 [illegible] 遂に豫期の

十錢方引上 [illegible] 厚番物 [illegible]

洋釘又々昂騰

[illegible] 保稅品缺乏 [illegible] 內地製釘の供給 [illegible]

田中 [illegible] 電話長一六二 一五二八番

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀物(十一日)

[illegible]

生魚市場

(日乃丸市場) [illegible] 釜山水產市場(十一日) [illegible]

期米賣買

[illegible]

仁川期米

▲十二日前場 [illegible] 十六圓八十六錢こ 昨止より九錢高の入電 二節八十三錢の移り [illegible]

大阪四節八十一 [illegible]

仁川米豆取引所

十二日の六月限

寄付	十三圓十
止め	十三圓〆七
高値	十三圓十
安値	十三圓〆四
出來	二萬三千石

平均値段	
一節	十三圓〆九錢
二節	十三圓〆八錢
三節	十三圓〆五錢
四節	十三圓〆六錢
五節	十三圓〆六錢

賣買取組高	
四月限	二萬七千石
五月限	一萬四千七百五十石
六月限	一萬九千五百五十石

市場零聞

[illegible]

▲綿て下勢 [illegible] ▲正米昇も高ナグレ [illegible] ▲場面も化 [illegible] ▲案外不勢軟弱 [illegible] ▲錢と小甘 [illegible] ▲中限の不勢は終局 ▲當中の一部解合を意味 ▲警戒 [illegible] ▲保合破れ如何 ▲今能く買ふ ▲(イ)能く賣る ▲(ロ)能く賣る ▲(ハ)能く賣る ▲前場の手振 [illegible]

天氣 曇り時々晴れ (十二日午後[illegible])

無鐵親島秀雄(二三)は久しく滿洲地方(…)に…事を働したる後同…更に事實を自白せるより此程清津檢事局に送られたり（清津）

滿洲視察團

四月十五日出發 同二十九日歸著

兩社主催の南北滿洲視察團準備完成し愈々來る十五日午前九時十分南大門驛發北上往復二週間廿九日午後七時三十分京城驛著に決定仕ましたが團體の歴訪地、日程及び各地の滯在日子、發著時間等は左記の通りです

觀察團日程

地名/發著	日次	時間
京城發	十五日	前九時十分
安東發	同	後八時卅分
奉天著	十六日	前五時廿分
同發	十七日	後三時四十分
營口著	同	後八時廿五分
同發	十八日	前十一時十分
大連著	同	後七時
大連	十九日	(滯在)
大連	二十日	(滯在)
大連發	廿一日	前七時五十分
旅順著	同	前九時廿分
同發	同	後四時四十分
大連著	同	後六時十分
同發	同	後十時
沙河子著	廿二日	前九時卅分
同發	廿三日	前三時五分
哈爾賓著	同	後十一時五十分
哈爾賓	廿四日	(滯在)
同發	廿五日	後零時五十分
長春著	同	後九時廿五分
同發	廿六日	前十一時廿分
奉天著	同	後七時廿八分
同發	廿七日	前十時四十分
撫順著	同	後一時四十分
同發	同	後六時廿五分
奉天著	同	後八時卅分
同發	同	後八時卅分
五龍背著	廿八日	前五時五十七分
同發	廿九日	前五時五十九分
安東發	同	前八時二十分
京城著	同	後七時卅分

團體としての行動は前記の通りですが歸途四月二十八日午前六時五龍背温泉場著正午同所ホテル五龍閣庭園に於て盛大なる解散園遊會を開催して後ち安東、新義州視察希望の方に限り同日午後三時二十二分五龍背驛發同四時安東驛著にて南下翌廿九日午前八時二十分安東驛發釜山行の列車に乘込まるゝ迄の間は自由行動御勝手次第であります

主催 京城日報社 毎日申報社

新しい軍旗

▽内容に於ては從前の軍旗と少しも相違の點が無い

軍人が常に陛下の御身代として尊崇措く能はない我が歩兵騎兵聯隊の軍旗に對し制式改定の旨が九日の官報に發表された、之に就て陸軍省の和田高級副官は語るやう「我が國では

▽明治七年に 初めて聯隊旗に關する規定が公布されたのであるその規定と云ふのは當時只軍旗の外部の輪廓を圖に現はし、その模型として實物大のものを紙に描つたものしかなくそれには旗の縱横の寸法だけしか記錄してなかつた、而して

▽新に聯隊旗 を作るにはいつもそれを標準にして居たがそれでは年代を經るに從つて自然磨滅腐蝕してしまひには原形を失ふやうな虞があるので今回その一枚の原版を基礎として精細に寸法を計り、一々

▽之を數字に 書き留めたまでの事で、形式上改正であるがその内容に於ては、從前の軍旗と今後作らるべき軍旗とは少しも相違の點があるのではない、官報には改定の文字があるので全國の

▽將校や兵卒 などが誤解しないやうに九日に陸軍省から全國各師團に宛て、其の旨を通牒して置いた、現在我國では歩兵聯隊旗が八十本、騎兵聯隊旗が二十五本あるがその中には過去の戰役に於て彈丸雨飛の中を潜り殆んど軍旗の影を存しないやうな

▽光榮のある ものも隨分あるが今度の改定規則發表と共に作り替へられるといふやうな事は斷じてない（東京）

大流行の山菊

草の芽が萌え出すと、いよ〱菊の手入が始まる、今年は稀有の厳寒の爲めに根が凍て

◆大分枯損◆ した模樣で例年山菊などは一尺五寸以上も延びる者が昨今漸く五寸内外に過ぎぬから成績は餘り宜くはない手入は小蒔の

◆油粕を施◆ し一日一回乃至二回づゝ水を與へぬと温室内は日光が強く乾燥し易い爲め成育を妨げるから注意すべきである、室から出すのはどうしても本月下旬頃であう仁川で

◆昨今流行◆ の山菊は二尺位も延びてから枝を曲げるのであるが其の呼吸が至つて六ヶ敷相である京城仁川の山菊流行熱は非常な者で仁川丈けでも二三百本は栽培される事であらうと

就寢前に必ず齒を磨け

何故齒並が不揃になるか齒の衞生と治療に關する知識を普及しようとて東京齒科醫學專門學校では第二十三回同窓會を兼ね九日午後一時より展覽會を開いた先づ聯合齒科醫會の主催に係る通俗の部には

◆齒の衞生は子供のときより 始めねばならぬとて一日間に於ける子供の生活を模型にて示し朝のみならず就寢の際も齒を磨かねば翌朝口内を檢査する時は驚くべき程黴菌の存在を認むる顯微鏡下の事實を示し其の模型圖解を以て諸般の齒牙衞生を説明したが中にも乳齒の齲蝕を其の儘放棄して置くと之が永久齒と脱け替はる時齒列びを惡くし顏貌を醜くするのみならず全身に及ぼす弊害の大なる事

◆扁桃腺肥大症 な其の他に 放棄し置く時は睡眠時も呼吸を鼻でせず口腔でするから齒並みを惡くして是亦出つ齒等になる事齒を清潔にし置かざれば齲蝕の結果結核菌に侵され易く瘰癧等の結核病を惹起することなど數多手近い實例を一目で判るやうに示してあつた殊に婦人が姙娠中に又は授乳中に齒に罹り易ければ努めて口腔を清潔にすべき事なども婦人に對する適當の注意と首肯かれた次に同窓生の主催に係る技工矯正の展覽會を見たが

◆近頃不正齒列の矯正は非常な 勢ひを以て一般社會から要求されて來たやうである一口に不正齒列と云ふが出つ齒のやうに上齒の突出もあれば齒ばかりではなく上下顎の凹凸もあり普通に云ふ齒並の不揃もあり其の症狀に種々あつて之が矯正法も諸種に分れて居る先づアングル氏法と云ふ一本の針金を齒の外部に當て之を六歳臼齒と稱する左右の奥齒に其の基礎を置いて針金の弓狀になつた彈力を利用して前後左右上下に齒並みを直す法ありコフイン氏法又はジャクソン法等種々あるが

◆六歳以上十七八歳迄の期間 ならば如何なる齒並みでも自由に矯正が出來るさうであるが十八歳以上になれば不可能ではないけれども保定期間が永いので多少困難を感ずると云ふことである現に十八歳の女が一年四箇月で直つた實例を示してゐた故上田文學博士遺愛の瑠璃子孃(一〇)の如きも目下治療中だそうだが成績が頗る良好だと云ふ事である(東京)

衣服は何うして著れば好いか

◇浮世繪に描き出された女性美

婦人の身體で一番目につく所は頸筋から肩へかけて流れる線それから乳房の上の胸のあたり、もう一つは裾のまはりであるが、京都の舞妓はかういふ所は

♣永年の經驗 で實にうまい事を考へて居る。それはどうするかといふに、彼等は衣服の襟の心に厚い紙片を縫ひ込んで、前部をひきしめるやうにする。そして背の方は襟足に塗る白粉を三角形につけるやうにし、この造作を拔衣紋で見せるから非常に美しく見ゐる

♣江戸時代の 女は色つぽくするのを主にした。殊にその時代の商賣人は、一見だらしがないやうで、その實何處となくしまりのある衣服の著方を喜んだものだ。既に粋で巨匠たる浮世繪師の簡宜作を見るとよくわかるそしてよくまきまつて居るのだ。これは當代の…が、つまり全體の上からいふと、衣服の上襟をなるべく深くとり上げてきるやうにする。何故上襟を上げるやうにするかといふと、これは腰から裾に流れる曲線の

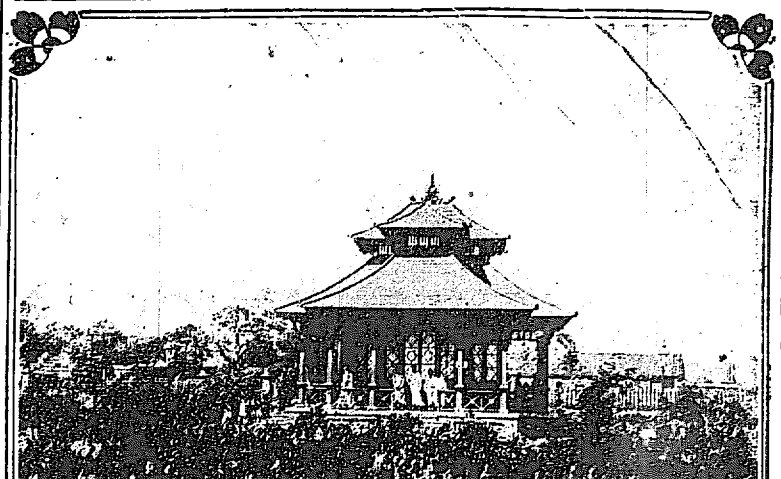
♣美しさを失 はぬためで、さういふ心持で身につけぬと、腰から裾までがまつすぐになつて面白くない。裾長くきるばかりが能ではないので矢張りその間に生れて來る形や線の美しさを失はぬやうにせねばなるまいと思ふ

♣衣服の著方 でもう一つ六ヶ敷いのは帯つきである。婦人には乳房のふくらみがある此のふくらみを適當に隠して襟元との調和をはかるといふ事を工夫せねばならぬ。此の場合、拔き衣紋といふのが非常に役に立つ拔き衣紋にすると少し位怒り肩の女でも割合に柔かい線を出す事が出來る。又丈の低い女でもどうやらスラリとした形に見ゐるものだ。此の襟から肩の加減がわかつて、その調和がうまく斷面に現はれて來れば衣服も一人前であらう。その次に六ヶしいのは

♣帯の結び方 である。近頃の藝者は、帯を結ぶ時、結び上げてから、その結び目の角を中の方へ折り込むやうにする。かうすれば、心地の自然に帯は身體になづんで、よい形になる。又、丈の低い女はなるべく胸高に帯をしめ、丈の高い女は少しく下げて締めさへすれば、調和がとり易い

♣丈の低い女 が幅の廣い帯をしめたのと丈の高い女が幅の狹い帯を締めたのは何れも間違つたキツケであらう。衣服のこまかい部分に就て言へば袖口はなるべく狹い方が見た目によく、又上品である。ふきはどちらかといふとふつくりして居るのが之れ亦上品であると肩巾がせまく見ゐてよいといふ事もあるが、これ等はむしろ俳優等に注意すべき事であらう。

滿洲視察寫眞帖（十）



（奉天公園の一部）

讀者文藝（一等には五十錢の賞品を呈す）

▽一口噺「其時々の事」

○讀者「櫻も一圓の値上だそうだ」早合點「ヤレ〱貧乏人は花見にも行けなくなる」(一等) 京城黄金町三 池邊 撰南

▲與太「今年は一月に閏があつたから寒さが長いよ」閑愚者「惜しいナー四月にあれば花見が樂くんだが」 龍山 茶加平

▲某「米國には資金が有り餘つて困つて居るそうな」貧乏人「そう云ふ時こそ俺が助けに行かなくては助ける人はないよ」 京城 正一坊

▲讀者「此頃は自動車の女運轉手が大持てだ」太「では今に女の挽く車夫も出來るだらう」 京城 戀川

□演藝案内

有樂館 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 早川演藝部直營 京城本町一丁目
四月十三日より特別興行 米國ユニヴァーサル會社藝術寫眞「特別權利附」提供 ブリユーバードフ井ルム特作品
▲大悲劇名婦（尼になるまで） 著作者 ルパート・ジュリアン氏 脚色 オルガ・プリンツロウ氏 …
▲小きん新太郎はかなき縁 全四卷 …
◎觀覽料普通料金にて御覽に入れ候

浪花館 明治町 電話二六〇 女俠吉田奈良女
▲大切 友吉、虎春、持寄 別出演
▲廣澤虎吉(奈良一)、須磨の浦風(大和)
旗風(奈良一)、御前試合(奈良長)
めまさい(三笑)、誠忠錄(虎春)雪の曙
大尉(虎雄)、景清
豊川利生記二席(奈良女)

櫻井町 大正館 電話八七三
四月十三日より特別大寫眞提供
○米國キーストン會社近作 ○喜劇ビーの…
△活劇滑稽チャプリの散歩 全二千呎
○…劇 日月太郎 全三卷
○軍事活劇第十二編 七快漢ロロー 四卷
○新派悲劇 女の半生 高奴 全五卷

壽館 京城壽町 電話一〇〇三
▲常陸丸 ▲鉢の木 ▲川中島 ▲村上喜劍 ▲金剛石(合奏) ▲伏見の吹雪(旭) ▲桶中佐(旭秀) ▲大高源吾(旭王) ▲茶臼山(旭) ▲赤垣源藏(翠波) ▲宇治川(下)(翠嵐) ▲扇の的(翠品) ▲吉野静(翠香) ▲本能寺(翠香) ▲伊賀の曙(旭蓮) ▲景清(旭坡) ▲湖水渡(旭窓) ▲護良親王(旭) ▲須羽(旭照) ▲熊谷(旭房) ▲菅公(旭水)
入場無料

壽座 京城壽町 電話五七八番
▲四月十六日より十日間午後五時開演
…京城在住の…各位の御覽に供し候間…

電話開通 電話一六四〇番 京城黄金町一丁目 京忠自働車商會

月やく 月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法速に御知らせ致ます 東京神田錦町三ノ一九 境田けい子

法人登記公告
一揚口地方金融組合登記事項中出資ノ總口數ヲ五百八拾口拂込ミタル出資ノ總額ヲ金壹千貳百八拾四圓九錢ト變更シタリ
右大正六年四月拾日登記 京城地方法院 春川支廳

法人登記公告
一平澤地方金融組合登記事項中變更出資總口數ヲ四百八拾八口拂込ミタル出資總額壹千貳百拾八圓ト變更ス
但大正六年參月參拾壹日現在
右大正六年四月拾壹日登記 京城地方法院 平澤出張所

株式名義書換停止
本月二十五日より五月定時株主總會終了の日迄株式名義書換を停止す
大正六年四月 東洋拓殖株式會社

朝米 曾我商店

亞鉛、銀鉛、銅、鐵鑛 鑛區買入 (許可鑛區) 融通鑛物買入
京城明治町一丁目七番地 正已鑛業所 電話一五九番

時計貴金屬 美術品製作 糸岐商店 本町一丁目 電話…

最も信用ある東京三金の靴
ボックス革製長靴 金五圓五拾錢 金六圓也
ボックス革製編上 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金參圓五拾錢 第二號 金四圓五拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造しあれば一般實用紳士靴として好適なり 御注文の節は靴型と足袋の文數を御知せ次第代金引換小包にて送附す
最新目錄無代進呈 東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店

魚釣具及投網卸問屋 京城永樂町二丁目 吉備商會

かぜねつの最良藥 ハカリ印のヘブリン丸 かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘブリン丸を用ゐて全快せらるべし 各藥店にあり 大阪 参天堂藥房

謹啓時下春暖之候益々御清穆奉大賀候陳者弊檢番義以御蔭日増繁榮に赴き候段之れ偏に四方御客樣方の御同情御引立に奉萬謝候就ては開業一週年記念の爲め當る四月十三、十四、十五日の三日間壽座に於て藝妓芝居開催仕候間何卒倍舊の御同情を以て賑々敷御觀覽の榮を賜り度偏に奉希上候 匆々頓首
大正六年四月 新檢番

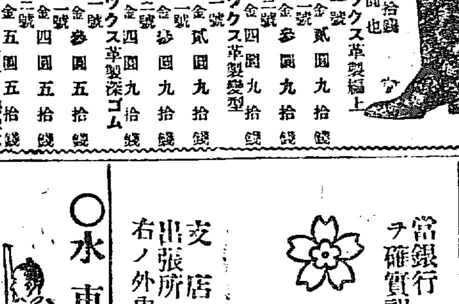
各種專門醫師執務時候 京城旭町二ノ六 東京パイン…

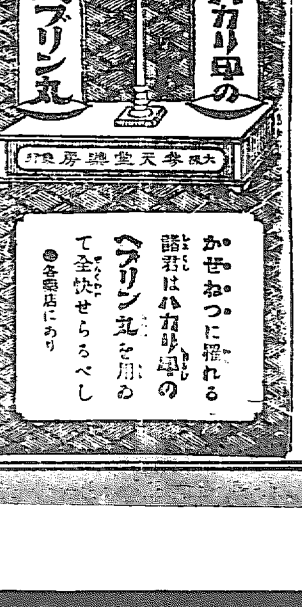
診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

月刊商報御一覽次第御送呈 夏物品揃
帽子各種 シャツ各種 手袋靴下 猿股半ズボン 和洋手拭 洋傘和傘 石鹸化粧品 煙草 櫻ビール サイダー 其他内外雜貨一式
釜山大廳町一丁目 明治屋本店 振替京城一〇七 電話三四八番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸付、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 電話…
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、群山、木浦、馬山、鎭南浦、會寧、新義州、安東縣、奉天、連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

○水車 定價(杉製) 五尺 十三圓五十錢 五尺六寸 十二圓… 六尺八寸 十四圓…
多數入用の際は割引致候
(當工場特製品) 坂井農蠶機商會 京城黄金町四丁目 電話二六〇八番

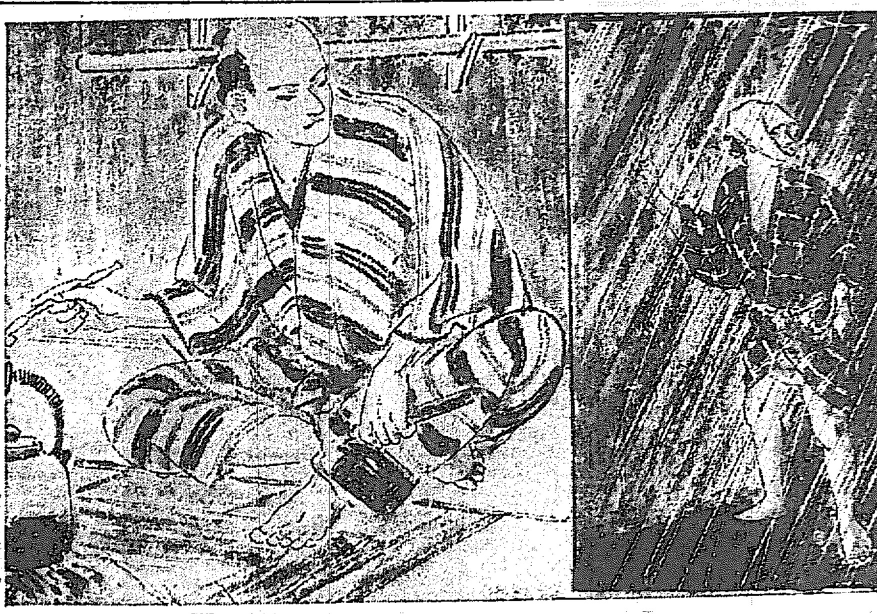




明君道中記

第百十三席 田邊南龍口演

賤の喜三は片手に棒を提げて透して見たが 喜『誰だ其處に立つて居るのは 與『ヘエ私でございます 喜『オーお前は與三郎じやアねえか 與『左様でございます 喜『何にしに來た、此の雨風の劇しいのに 與『俺は此度棟梁宅兵衛と共に御城内に仕事に參つたのですが 喜『ウン然うか、御殿の御普請に來たのか、然て何で今時分此處へ來たのだ 與『實は親分も御存知の通り目の見えない母親が一人でございますから、怎う遣つて御城内へ來たぎり歸りませんから母親が嘸ぞ案じて居るだらうと思ひます、何うか鳥渡母親の處へ行つて怎ういふ譯で御城内に居ると安心をさせて參らうと存じますが、親分洵に濟みませんけれども九ツの巡りの來る時分には乾度歸つて來ますから此の御門を出して下さる譯には叶きますまいか 喜『それは叶けねえ、決して此處を出す譯には叶かねえ、然し汝の孝行のことは誰も知らねえ者は無え、目の惡い母親を離して來たから鳥渡行つて安心をさせて來やうと云ふのは最もだ、が若し此の御門を預つて居て一人でも出したといふことが御家老様に聞れれば、人を殺した此の喜三の首の無えものをお助け下すつたのだから何うも此事は承知が出來ねえが、親孝行の汝から然う頼まれて見れば出來ねえとは云はれねえ、内緒で出して遣るが其の代り俺に迷惑をかけねえ様に九ツの巡りの出て來ねえ内に乾度歸つて來イよ 與『怎麼ことをしてもお前さんに迷惑をかけねえ様に九ツの巡りの出て來ねえ内に歸ります 喜『ウム然う極つたら早く行くが宜い、剣呑を遊はねえやうに歸つて來イよ』乃で喜三が門を出してくれましたから喜んで與三郎は其處を立出で 與『あゝ喜三親分は子供の内から可愛がつてくんなすつたが、彼の人が彼處を固めて居なさるのは洵に此方の幸福だ』と獨語を云ひながら雨風を冒して草を踏分け城下傳馬町の我家母親の許へ差して來た處、元は母のことを心配して出て來たのでございますが、深く云ひ交した仲故此處まで來たもの〻、隣谷村の植木の爺さんの處へ行つて一と目會ひ、怎ういふ譯だと話して往かう、おいねさんも城内へ行つたのは知つて居るけれども其の後沙汰をしないから怎麼に心配をして居るか知れねえ、鳥渡行つて會つて來やう、と植木の前まで來て、藤右衛門の庭先へ忍び入り小石を拾つて雨戸を叩いた、スルと此方は藤右衛門の娘のおいね、與三郎が御城内へ行つたきり沙汰が無いから譬喩御城内へ入つた處でまるで音信をしてくれないと云ふは餘りと云へば不實な人、今晩は何をして居るかと始終與三郎のことばかり考へ夜分もおち〳〵睡ることはない、折から雨戸を小砂利で叩かれて毎時與三郎が忍んで來る時には然ういふことをいたすので、倩はと思ひ耳を引立て聞いて居ると復叩きますから愈々それに相違ないと寢所を脱出で雨戸を開けて顔を出すと 與『おいねさん い『オー與三郎さん、お前さん何うなすつた 與『イヤ俺も直に戻つて來るつもりで棟梁に無理に伴れて行かれ御城内に入つて見ると何うも出ることが出來ない母親のことやお前のことを忘れる暇なく、何うか一度忍び出して會に來やうと思つて居る内に、今夜此の暴風を幸ひ皆なの睡入の隙を考へてやう〳〵のことで矢來を乗越して裏門の喜三親分を頼み出して貰ひ、九ツの夜巡りの巡つて來る前に歸つて來ると約束をして來たので、もう程なく仕事も濟むから然うすれば歸つて來る故何うか決して案ずに待つて居て下さいまし



宮内省御用達
最上清酢
登録商標
MARUKAN
品質及醸造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醤油釀京城出張所
電話二四五番

四月十四日 九星
舊曆二月廿三日 丙戌
本命八白 長 危 赤口

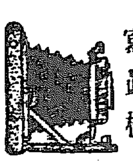
△八白● 拜みたおしの事有る日新事見合 東方は吉 △九紫● 成功の日轉居入門金作 名弘 建築求職婚姻同志を募る等皆吉 △一白● 旺散臭き事有る日新事手控舊事は吉買物に用心せらるべし △二黒● 働き損となる事有る日注意 新事手控舊事は吉一切のせわ事せぬがよし △三碧● 兄弟の中にも行違を生ぜんとす 新事手控舊事なるは妨なし △四緑● 平運の日と雖も新事控目の方は吉種蒔樹を植ゑるは妨なし △五黄● 偽り込主議の事有る日新事手控舊事は吉 保證連帯等せぬがよし △六白● 福を招く日轉居開業旅行 名弘金 求職結婚 資洋 出漁等萬吉 △七赤● 悠揚たる日 轉居旅行 商探 就職求職金作棟上縁組試驗を受る等萬吉

高島易斷總本部創立主 高島式强健術呼吸法元祖
高島太陽來仁
余が一昨春の豫言日鮮同盟果して的確實現せり余は故正五位高島翁直門呑龍師を介し斯道研究し道統を繼承せるものなり今回一般世人の採問を解き運命開發に資す依て左の處に於て易斷講究並に强健術を開催す
開場 仁川 旭屋旅館
日時 自四月十三日 至同十五日 受附 前八時 後八時

女はヒミツにするからいけない
のは○○障害である
本病に罹ると人生無上の快樂を全ふする事が出來ず隨つて夫婦の交情は次第に薄く一家の平和を損じ大切な子寶が得られぬ事あれば是程不幸な事はない彼の貴婦人令孃の情夫を拵らへ不身持するも此病氣の原因が多い又良人の放蕩や妾狂ひするも婦妻の○○○不完全が原因することもある、故に患者は勿論無病であると思ふ婦女方でも○○無上の快樂を全ふして樂しく世を送りたい人は大阪谷町一丁目松田豊太郎宛ハガキで申込高橋伊藤兩醫學士及本人が多年研究と實驗に基き苦心の結果公にせし唯一の治療書を貰ひ、せひ一度讀んで置くべき必要があります 又至急希望者は内容なれば切手八錢送りなさい

りん病 急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋滅をお用ひあれば全治迅速なり七日分一圓十四日分一圓九十錢本藥は他店に御座なせず本舖に御注文あれ 京城黄金町三 振替京城三二七番 山田文殊堂藥房

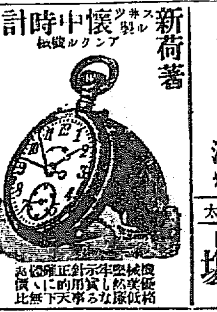
寫眞機 寫眞材料



京城府明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二二〇番

模範 牛乳 ニウソ 石鹸 洗粉
主婦 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二二番

スヰス製 アクシル 懐中時計 新荷着



(ニッケル側)十八形 (片蓋) 二圓五十錢
同 同 八日卷 九圓二十錢
同 十六形 同 六圓九十錢
同 十七形 同 四圓五十錢
同 クロミユーム目醒付 十六形 同 六圓二十錢
同 同 十七形 十二圓卌錢
同 十七形 同 十五圓
同 同 同 十[illegible]
同 同 (兩蓋) 四圓五十錢
(銀側)クロミユーム入十八形片蓋 八圓五十錢
同 同 同 五圓
同 同 同 二十 二圓五十錢
同 同目醒付 同 七圓五十錢
同 十六形 同 八[illegible]
同 同 (片蓋) 七[illegible]
同 美質優秀各色新形 十二形 同 五圓二十錢
同 同 同 四圓五十錢
同 十二形半 (兩蓋) 十[illegible]
同 十七形 (片蓋) 六[illegible]
同 同 同 二十二圓
金張十年保險 同 同 十八圓
同 十年保險 十八形 同 五十六圓
(金側) 十七形 九形 (片蓋) 六十五圓
同 同 同 百五十圓
同 至三百八十圓 十三形 ニツケル 四圓四十錢
流行腕卷時計 十三形 クロミユーム入 七圓三十錢
同 同 (銀側) 十[illegible]
同 同 (金側) 十[illegible]
同 同 同 四圓三十錢
右は今回新着の商品にて本商會獨特の品物之なきに無き所の伏して御用命ありたく御申込の節は地方御注文に對しては代金引換御取扱いたし候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
インクレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

お化粧に目の高い外國の婦人まで賞讃した!
東京で今大流行の美人となるお化粧法

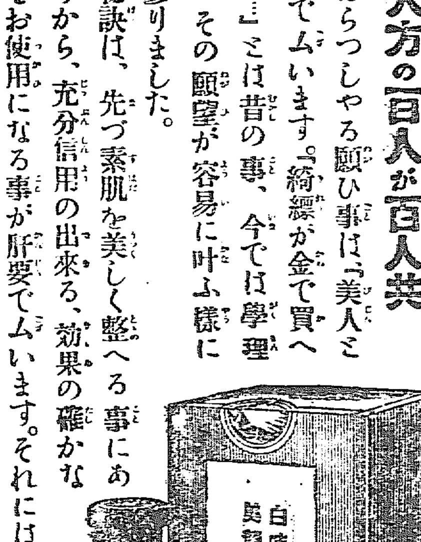
□御婦人方の百人が百人共 持つてゐらつしやる願ひ事は「美人となる」事でムいます。『綺麗が金で買へるなら……』とは昔の事、今では學理の力で、その願望が容易に叶ふ樣になつて參りました。

美容の秘訣は、先づ素肌を美しく整へる事にあるのですから、充分信用の出來る、効果の確かな化粧料をお使用になる事が肝要でムいます。それには學理的に素肌を白くし艶のある自然の美しさを發揮するホーカー液の御常用が一番です

イキ〳〵した素顔の美しさを現はす

宮内省御買上

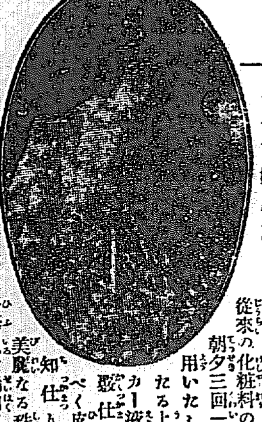
ホーカー液



星の國より東海美姫の國へ

有力なる裏書

─米國美粧倶樂部主幹シー、アール、ズ井ンク夫人より ホーカー液本舖、美粧研究室への來書(抄譯)─



(前略)御品ホーカー液が學理的に有効なるべきことは既に當倶樂部試驗部に於ける熟練なる技師の分析鑑定により明白なる事實に有之候が又實際上に於ても能に美粧効果の充分的確なることを妾自身及妾の忠實なる助手トンスター孃の實驗に依りて確認いたし候事を茲に申上候、妾等は總ての從來の化粧料の使用を停めてより三日を經て、朝夕三回一定の時間に御品ホーカー液を選用いたし候、斯くする事一週間に及びたる上精密に其經過を吟味いたしホーカー液の皮膚に及ぼす效果の如何を檢驗仕り候ひしに其結果は寔に驚くべく皮膚美白の作用を遂げ居る事を了知仕り候、先づ皮膚面の組織は全く美麗なる珠玉の面の如く滑らかに、而して皮膚色は潔白にして而も純潔なる血色豊に眞に天稟の麗質を發揮いたし居候(中略)其他皮膚に及ぼす衞生的效果は更に多々有之要するに單に美粧料として見るも御品ホーカー液は現在我米國に存する種々の美粧料に比し甚だ卓越せる效果あるを確信仕候之を自由に使用するを得る貴國の紳士淑女は實に幸福羨望に堪ねず存じ申候(後略)

ホーカー液 定價 大瓶八十錢 中瓶四十錢 小瓶二十錢 送料 内地無料 滿鮮三十錢

最寄りの小間物店、雜貨店、藥店等に品切れの節は振替又は三錢郵券代用にて直接本舖へ御注文下さい

本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話神田(長)一四一一・(特)一四一五 三四一五 振替口座東京一五一六

御注意 ホーカー化粧品は凡て詰替や量り賣りは致しません。近時斯樣なことをする不正商人ある由なれど右は僞品につき御注意願ひます。

醤油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醤油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證

最上 醤油 (キハク印)

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

京城日報
四月十三日（夕刊と合せて八頁）

第三版

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢郵稅一ヶ月金拾五錢 三ヶ月分前金 ▲郵券代用一割増
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢 ▲三號活字拾字詰壹行金壹圓武拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合名會社 京城日報社
電話番號 編輯用 三四五番 營業用 二二六〇番 振替貯金口座京城二〇〇番

北米合衆國の任務
京城日報

北米合衆國一たび其志を決して起つや、其施設、甚だ活潑なる者あるは喜ぶべし、米國政府は、大陸軍編成計畫を立て、現在の常備軍州兵及び徴兵の外、新たに五十萬の兵員を募集し、此百萬の陸軍編成の爲め、最初一年の經費六十億弗を投ずべき方針なり、且大藏卿マカツー氏は民主黨領袖と協議し、協商國に軍事費を貸附くる爲めに、五十億弗の公債を、發行することを決定したりと云ふ、過日米國々會が大多數を以て、臨時軍事費三十七億弗を可決したるより推すときは、是等政府の立案は、其元老院及び衆議院の協贊を得べきや、言を待たざるなり。

米國政府は、如何にして其財源を求むべきか、吾人未だ其詳を知るを得ざれども、大藏卿の意思は、先づ其租税を增徴し、而して後に公債を募集するといふにあるべく、增税の第一着として、所得税を三倍にし、其累進率を大にして、大所得者に對し重きを課すべき方針なりと云ふ、此度の戰役に際して、佛蘭西、露西亞、獨逸、墺洪國共に、其軍費を戰時税に求めずして、專ら公債に求むるといふ有樣なり、獨り、英太利のみは、今回の軍費の二割六分を租税に、七割四分を公債に求む、其租税も主として直税にして、專ら富豪者資産家より徴收するの方針を取り、現年度の新課税の七割五分は直税、二割五分は間税なり、米國も其國情、甚だ英國に似たる點あり、其の戰時税を設くる、亦自ら直税に依りて、富豪及び資産家の、負擔を重くするの方針に出づべきや、言を待たざるなり。

併しながら、北米合衆國にして、協商國と其事を共にする以上は、自ら其の特殊任務あるを知らざるべからず、米國の陸軍編成は、大事業たるに相違なしと雖も、其の完成は、少くとも一箇年の後を待たざるべからず、且、完成するとも、之を歐洲戰線に出して獨軍を攻擊するが如きは、殆ど此に望むべからず、又其海軍は強大なりといふも、獨逸は其軍艦を出さずして、專ら潜艇襲を事とする際なれば、直ちに之と海戰を開くに由なし然らば則ち、如何にすれば能く、米國の開戰の目的を貫ぬき、且、協商國を援助し得べく[illegible]只其軍費調達を助くるの一途あるのみ、今日の協商國は、皆其軍費過大なるに苦み、專ら、英國の援助に是れ依頼するの姿ありて、英國より協商國及び植民地に融通したる軍資は、去三月三十一日までに、累計八十九億圓を算するも、今後は、益々其要求增加し來るべきや論なし、英國自身とても、一日平均五千七百萬圓の軍費を要する際なれば、自ら其經費を調達するにすら、困難を感ずることなき能はず、況や、協商國の無限の要求に、應ずるの餘地あらむや、於是乎、今後英吉利及び協商國の爲めに、軍資供給國たるべきものは、天下獨り北米合衆國あるのみ、米國は此戰役開始以來、軍需品供給其他貿易繁盛なる爲め、輸出超過百億圓以上に達するあり、今日以後、其の供給は一層增加すべく、米國にして協商國の軍事公債を引受くるは一の投資方法たると同時に、一の爲替調節法たり、而して協商國は之に依りて、無上の便利を得て、必勝の形を定むべきなり。

極東の交通機關
（四）探險隊査定道路

目下沿海州と歐露との交通は後バイカル鐵道、黑龍鐵道、シルカ、黑龍流域の三路に依れり而して聞くところに依れば政府は更に黑龍鐵道線に依れる假道路の根本的修繕を行ひ以て尚ほ一交通路を加へんとすと更に沿黑龍州以東太平洋沿岸に至る交通路としてはニコラヰフスク市に至る黑龍江流とハバロフスク浦鹽斯德間を接續する鐵道あり而して是等交通の便は南北兩面に厚く寧ろ中央及び東方に薄きが如し然るに目下西伯利亞經濟關係の發達は沿黑龍州中央より太平洋沿岸に至る交通路の開鑿を促すものあるに依り政府は之が踏査研究を命じ其結果下記交通路の開鑿を必要と認めたり一、ハバロフスク市皇帝港間二、デカストル港黑龍江岸リフヒースク間附けたり、カチ湖行枝道三、現存ツンギーリ道路の利用（黑龍江鐵道モゴーチ驛とツンギール河間約九十七露里）にして此道路は千九百十三年土木省の布設せしものにして毎年若干の費用を投じ維持するものツンギール以北は河水の氷結するを待ち利用するに過ぎざれど南方に至りてはスンガリ河ウスリ河若くは東清鐵道と併せ利用するを得べし

黑龍江探險隊は道路布設研究に非常の困難を嘗め四年間の久しき遂に二萬二千露里の踏査を行ひ其結果財政上の見地より山麓に沿ひ一の陸路を穿ち又水路をも利用し多くは之を橇行に用ゐ夏は車道に用ゆる計畫をなせり即ち前記探險隊の査定せる道路は下記の如し

一、西部 一、黑龍鐵道二、鐵道線の並行路三、黑龍江及びシルカ河岸道路

一、東部 一、ニコラヰフスカ市道是はフラゴウエシチンスクよりアレキセーフスク市經過ソンムチ河に沿ひストキバに至りストキバよりアムグニ河を渡りてハルピンスキースクラードに至り更にアムグーニ河及び黑龍江に沿ひてニコラヰフスクに出づ二、ウスリ鐵道に並行するウスリ車道

三、黑龍江とデカストリ港間道路ハバロフスク市ソフヒースク市ニコラヰフスク市間道路ハバロフスク市皇帝港間道路

三、北部 一、黑龍鐵道モゴーチ驛より現存道路を利用しツンギール河に至り以北山嶺を越ゆ若くはツンギール河及びオレクマ河の氷上を利用しオレクミンスクに至る

二、黑龍江岸ジャリンダ（レキコウオ）より黑龍鐵道ベ、ネウヱル交叉點通過ツキムトンに出で以北は土人多村を經オレクミンスク及びヤクーツクに至る

三、ゼヤ、ブリスタニ、ノテヒンスキー、スラクード以北は土人多村ウチエルを經ヤクーツクに至る

四、マーユ河岸ホリケン村よりオホック海アヤン港に至るアヤン道は大形道路の指定に外ならねど此他地方道路としてチエルニヤーエフゼイ道、フラゴウエシチンスク市ハバロフスク市間車道其他黑龍州及び沿海州に幾多の地方道路開設の企あり此道路を布設するときは貿易の隆盛と金鑛採掘業の發達を助成すべし

北支經濟視察
鮮島鮮銀仁川支店長談

三月十九日仁川發大連旅順營口鞍山店鐵道にて濟南府に至り天津北京より營口に出で更に奉天安東縣を視察し十日夜歸任したる鮮銀仁川支店長の視察談を摘ぐれば

支那及び滿洲各重要地に於ける經濟狀況を視察するに歐亂の結果船腹不足を告げ從つて船賃騰貴したる爲め支那對歐米の貿易は不振を來し諸國の投資も又戰前に比し殆んど見るべき者無きを以て我商圏發展上には絶好の機會到來したりと謂ひ得べく事實上にも邦人の勢力擴大し根底益々深くなりつゝ有るを見て愉快に堪へざりき

△大連 大連に於ける工業界を瞥見するに同地は石炭豐富なりと雖も水乏しき爲め彼の有望なる油房の外見る可き者無く工業の發展上幾多の障碍を來しつゝ有るが滿鐵の沙河口に於ける製鐵事業の規模廣大にして精巧なるには一驚を喫したり、殊に從來材料の鐵は外國より供給を受けたるも最近に至り鞍山店鐵山より盛んに鑛鐵の採掘せらるゝあり熔解製鋼事業も又大連に計畫中なりと謂ひ其他中央試驗所工業學校等に於て製造技術の試驗教育奬勵等工業勃興の氣運頗に加はり、市況は殷盛を極め地價の如きも一二割の騰貴を來すなど吾々の意を强うするに足る者多々あり且つ貿易額の如きも昨年度に於て一億二三千萬圓に上り全鮮の貿易額を凌駕するが如き其の將來は洋々として殷富發展又速やかなる可く觀測せられざるに非す

△青島 獨逸が極東政策の爲めに鐵道家屋を除きて單に市街地計畫港灣艀船渠のみに二億馬克の巨費を投じて成りたる青島は背後に山東省の富源を負ひつゝ有るを以て年々發展し昨年の如き四千萬圓以上の貿易額を算したに依つては必ず可き勢力を以て貿易額の增進、邦人勢力圏の擴張を期待し得べし然し乍ら現狀に於ては從來勢力の中心を形勢し居たる獨人の退去、支那大官大商の戰禍を避けて他に移住したる者の未だ歸着せざる其他諸田の如き特殊貿易品の輸出港移轉の結果に基き戰前に比し多少の後退は免れざるも貿易品は邦商の手に取扱はれ獨逸人の勢力は全部邦人に獲得せられつゝ有るは帝國々權の發展上、實に觀艱に堪へざる處なり只研究すべきは鐵道政策問題にして彼の競爭線と目さる可き津浦鐵道に對抗し山東沿線及び濟南府附近より集まり來る貨物を青島に集散せしめされば軈ては青島の死活問題となるは贅言を要する迄も無き事乍ら軍に於て經營し滿鐵の從業員を招致して現業に從事せしむる同鐵道が獨逸時代よりより多くの貨物を奪はるゝ事無きは確信するも一歩進んで津浦線の貨物を吸收し得るや否やは注目に値す可く吾々は山東鐵道が營業政策を確立して津浦線に對抗し更らに濟南府より陳定延長線を布設して河南山西兩省の廣大なる生産地に勢力を伸張したらんには廣大なる富源を開發すると共に青島の價値を益々發揮せしめ得る事と信ずる者なり青島に於ける鐵業は石炭は博山及び淄川炭坑より無限の供給を受け鐵鋼も又金嶺鎭なるを以て鐵業の旺盛なる推して知る可く水も又調澤には非ざるも支那各地に比し豐富にして工業に適し現に內外紛合弁紡績工場は建築成り機械の到着と共に操業に着手する由にし其他製粉業製油業綿絲紡績製造業ビール製造等或は計畫中に係り或は操業に着手する等前途頗る有望なり

△濟南 濟南府は政治上山東省の首府たると共に鐵道運河等に依り貨物の集散多き政治上將經濟上重要の地點にして將來道江鐵鐵道延引實現の上は極めて複雜なる關係を有するに至る可し

△天津 天津は上海に亞ぐ古き開港場たる丈けに日英佛獨露墺伊等の租界に別れて各國勢力の接觸地として名高きも昨今は英佛租界や獨墺伊の租界の如きは火の消えたるが如き觀を呈し居れり日本居留地は支那市街に接近し居れるを以て對支取引上便多きも船舶の碇留貨物の積卸は佛國の埠頭を使用し居る狀態なれば不便の點鮮からざる模樣なり貿易品は京奉方面より産出する羊毛獸皮農産物等にして主として歐商に依り歐米に輸出せられたるのみならず船腹不足の結果は日本を中繼地として積出さるゝ者多き狀態なれば日本との關係は益々密接に接近して邦商發展上慶ぶ可き現象なり工業は開平炭の供給豐富なれ共水の缺乏甚しく從來見る可き者殆んど無かりしも最近支那人經營の紡績業及び製粉業企劃さるゝに至りたり天津に於て奇異に感じたるは白河埠頭に百貨秩序無く野晒しとなり居る有樣なるが此は雨期を除きたる他の時季には降雨稀なるを以て個人倉庫及び法人經營の小倉庫以外船積前後の一時的保管倉庫を建築せざるに依る者なりと

△營口 營口は滿港運賃政策の爲めに年々衰頽を來して其の繁榮は漸次大連に奪はれ居るが如き感あり然し乍ら營口を貫く遼河は廣大なる奧地を控へ戎克貿易は依然として衰へざるを以て大連に壓せらるゝと雖も營口の特色、實價は根柢深くして一朝一夕に勢力の移動を來すが如き事無ければ此以上大連の勢力が營口の本領に迄侵入する事は絕對に非ざる可しと信ず（仁川支局）

優良繭の販賣及び移出狀況
販賣高總産額の五割八分＝移出高百五十萬圓＝九千餘圓＝顯著なる繭質の向上＝繭價の發揚と需要の激增＝

家蠶繭は從來概ね幼稚なる技術に依りて養蠶家各自に製絲するの習慣なりしも優良繭は寧ろ之に加工することなく繭の儘販賣せしむるを得策とするが故に先年來各地方共に道郡廳協力斡旋の下に繭販賣の獎勵に勉むる所あり、大正五年に於ては其の數量共同販賣に係るもの二萬一千三百六十一石、個人販賣に係るもの一萬八千三百十三石合計、三萬九千六百七十四石を算し同年の內地種繭總量の約五割八分に及び其の價額は合計百四十八萬四千六百六十八圓に上り一石當り平均單價三十七圓を示せり、之を前年に比すれば數量に於て約一萬五千九百石、價額に於て約八十五萬九千圓、單價に於て約十一圓の增加を呈せり今

△之を地方別に就て見るに販賣數量の最も多きは慶尚北道の八千八百餘石にして全道販賣數量の約二割二分を占め之に次ぎて多きは京畿道の六千四百餘石、平安南道の五千七百餘石、平安北道の五千五百餘石にして江原道、黃海道、忠淸北道之れに順次し咸鏡北道の十五石を最少とす、內地種繭産額に對する販賣數量の割合最も多きは京畿道の七割五分にして忠淸北道の七割二分、平安北道の六割四分、慶尚北道、江原道の五割二分、平安南道の五割一分之に順次し咸鏡北道の十割にして忠淸北道の八割、全羅北道の七割餘之に次ぎ其の最も少きは平安南道の九分なりとす

△此等販賣繭は一部朝鮮內に於て消費せられたるも大部分は愛知、長野、山梨、福岡、三重、岐阜等三府二十九縣に移出せられ其の移出總量三萬四千四百九十二石、價額百十萬九千百六十六圓に達せり、朝鮮繭は元來解舒良好絲纏強靭なるの質を有するも從來上蔟の方法乾繭設備等完からざる爲め其の眞價を發揮するに至らず多くは信州上一番程度の製絲原料として消費せられしも近時各般の改良に依り繭質向上大に見る可きものあるを以て內鮮共に逐年之が需要の增加を來すは期して待つ可きなり、今繭移出累年比較を示せば左の如し

年次	販賣數量	販賣價額	對一石價格
四十三年	一五一石	四、七二三圓	三一
四十四年	八四八	二四、八一四	二九
大正元年	三、五九八	一〇七、〇一一	三〇
大正二年	五、九九九	一九九、一六五	三三
大正三年	一三、二〇四	四八九、六九五	三七
大正四年	二三、七九二	六二六、〇八三	二六
大正五年	三九、六七四	一、四八四、六六八	三七

一五、六四　一五、九七　一六、四六
一五、六四　一五、九〇　一六、四〇

▲十日後場 ▲兵庫… 十六圓四十二錢 … 入電 … 引先十三圓〇六錢と一錢安に寄付たるも … 新規に買物多く三錢と押したるが押目 … [illegible]

▲三品續て賣る … 石に上りたりとの事 一面千餘石の買ありたるも … 注目を惹いたり … 前引來 … [illegible]

▲白の大商內 … 買たる玉數五千餘 … [illegible]

▲保合下岐れ乎 … 十二圓二十五錢 … 十三圓 … [illegible]

▲現物 … 沿海州 … 白川大豆八圓 … 小豆八圓二十 … [illegible]

後場 十二日の六月限 十三圓 十三圓

四月限 二萬四千五百五十石 五月限 九千六百五十石 六月限 一萬五千九百五十石

時計卸商
登錄商標 TRADE MARK (K)
京城黃金町二丁目 喜多金光堂
電話一〇替京一五・振城七八二

權威ある日本沿革圖出でたり！
文學博士 吉田東伍先生編纂
新編日本讀史地圖
四六倍判 地圖六十六圖 解說十二頁 定價金參圓貳拾錢 郵稅十六錢
時間的關係を示す年表を空間的關係を明にする地圖とを結合せる沿革圖が讀史開卷第一の必須なるは論を俟たず。然れども變化多く複雜極まる日本古今の地理と歷史とを結びつけて完全なる沿革圖を作る事は非凡なる大手腕を要す。これ從來此種の著に優良なるもの無かりし所以也。特に近時史學の研究と講習とは長足の進步をなし、其結果として往時の圖表は多く陳腐に屬す。依て弊社は數年前より博士を煩はして新撰の大作を乞ひ。博士獨特の歷史眼と地理眼とは絶倫の精力を傾注し得て最新完備せる讀史地圖編纂に成功せり。且製圖製版には實に七年の星霜を費して茲に印刷發行の運びを了れる者とす。若夫れ本圖の正確詳密にして歷史地理兩界の權威たるは、著者博士の造詣甚大なる學識に照し來りて、世間自ら定評あらん。吾人敢て多くを言はず
東京神田 富山房（振替五〇一） 賣捌全國書店

第八回朝鮮農業移住民募集
募集戶數 二町步の地主になるもの千戶 十町步の地主になるもの五十戶
申込期限 本年九月末日迄
移住手續 移住手續書請求次第送付す
京城 東洋拓殖株式會社

自宅獨習
共立女子職業學校 教師執筆 文部省檢定委員
和洋裁縫講習錄
●裁縫の本は多いが何れも裁方を並べた位で縫方など殆ど敎へてないから●到底自習用にはならぬ●本會は之を遺憾として最新の合理的通信敎授を案出して全く學校にて敎授すると同樣詳細丁寧に說明し●自宅に居乍ら最高の裁縫學校へ通學同樣の學力を充分に授く
卒業一ヶ年 毎月謝册五錢 見本郵券二錢送れ

生徒募集
（日科授敎）
和服裁縫科 洋服裁縫科 小物及細工物科 袋物科
▲國民道德 ▲育大意 ▲裁縫敎授法 ▲色洗
新學期開始 入學が學校に行く要なき時代來る
●小學卒で通學出來ぬ人 ●女學生の參考書 ●本會は特に檢定受驗者 ●裁縫敎員の師友 敎育界の歡迎如何 速に入會せよ
東京市神田區今川小路 日本裁縫敎育會

電話番號變更廣告
舊七四八番を廢し新設三〇〇二番に變更
撫順炭 三國商會
商會用 電話長九〇〇番 三〇〇二番
西大門貯炭場 一八〇九番

購買入札
特等米百石外二點 馬糧用藁外五點
右購買ス詳細ハ大正六年四月十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
總督府醫院納 本府外三ケ所納
朝鮮總督府

石炭（切込炭）壹千噸
右購買ス詳細ハ四月十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

◎軍隊拂下被服類
○毛布賃貸の御依頼に應ず
其他 メリヤスシャツ サルマタ・ズボン下
右昨年殘品多數大見切にて販賣可仕候
京城北米倉町電話千百十二番 メリヤス卸商 村上商店

京日案內
●電話至急讓受たし 御用の方は電話一八五番へ 951
●産婆にして地方開業を望む方は履歷書寫眞送附あれ 忠南鳥山 岡崎 953
●賣店 歸國に付居拔の儘讓渡 櫻井町大正館隣 小林玩具店 954
●貸屋 黃金町 所在堅志洞 將來有望 東京建物株式會社 電話一六八一番 947
◎貸屋 倉庫 商店事務所向 間口四間 奧行三間 二階 月十五圓 南大門側 日拔場所 御用の方は電話一一八八へ 930
店員入用 十六歲より二十歲まで 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店 935
●融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御相談又は御來談 京城大和町三の三二（柄澤前） 起木屋 790
◎古本熱心高價買入 ▲御報參上 ◎是非御試賣を乞 ▲本町二 ◎電話二四八四番へ ▲書肆 群書堂 792
●賣地 龍山桃山附近 別莊果園向 四千餘坪 ◎賣芝もあり（姓名在社） 944
番外 予は將に世界的大飛躍を期す依て良參謀を募集す確志の人速に來れ詳細面談 仁川旭屋旅館 高島大陽 955
給仕採用 小學校卒業程度 本人履歷書携帶來談あれ但市內に確實なる要保證人 黃金町二丁目 明治公債朝鮮支部 62
灸 ▲十二日より當分の內黃金町東拓前 ▲黃金湯▼に臨時出張 桑田アサ子 949
店員 十七八歲の者二名入用希望の方は來談有度し但し市內に確實なる保證人を要す 永樂町二 播本商店 電話一一〇 948
年金 恩給及退隱料 證書確實保管 水鉛 多少不問高價買入 並 京城吉野町一丁目 電車停留場約一丁半上る 即時 特立 俵屋 714
〇はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 746
◎京城春川間自働車 每日午前八時卅分出發 京城春川間行自働車 片道金四圓 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車組 主務 金正淵 775
恩給年金立替 即時取引 退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正館向） 元祖 博多屋本店 911
京城鍾路二丁目九九番地 ▲鑛物分析及鑛山測量▼ 金石商會技術部 電話一八九九番 942

○六十億圓は聯合國へ
米國の百億圓公債發行

米國藏相マカヅー氏は五十億弗(三分五厘利付)公債を發行し内三十億弗は聯合國の支途に供し目下未償還の聯合國公債と交換す可き旨發表したり(華盛頓電報)

○中南米も斷交せん

中南米諸國は孰れも獨逸潜航艇の海上脅威を憤りグアテマラ、ニカラガ、サルヴアドル等も伯刺爾に倣ひ近く斷交せんとしつゝあり(路透電報)

○木船短期建造案可決

華盛頓來電──大統領ウキルソン氏は船舶局提供に係る木造船一千隻各三千噸を五個月位に建造する計畫を正式に裁可し米國議會は之に對し一千萬磅の補給を可決せり(倫敦電報)

○米墺國交斷絶通告

十一日附を以て伊國駐剳代理大使より米墺國交斷絶せる旨十二日午前帝國政府に通告ありたり依つて今後墺國に於ける日本の利益代表を西班牙政府に委託する事となりたり(東京特電)

○露國新政府の宣言

露國新政府は宣言書を發して下の如く聲明せり『自由の露國は他國を統御し是等の國民より國家的世襲財産を奪ひ或は武力によつて他國の領土を占領せんと志す者にあらず、新政府の目的とする所は各國民權利を根柢としたる永遠の平和を確立するにあり露國は其の運命を決するが爲めに何人をも征服し又は屈辱せんことを希望せず然れども露國は此の大戰の爲め屈辱を受け或は微力と爲り了る可きにあらざるなり』(露都電報)

○露國共和制決議
自由黨各派代表者大會結果

露國々民自由黨各派代表者大會はアレキセーフ將軍に對し『自由政事擁護の爲め極力盡瘁すべく又軍隊に必要なる物質の補給に全力を注がん事を期す』旨打電し露國の新政體は國民代表者の選擧したる大統領を元首とせる共和政體たらざるべからずと決議したり(露都電報)

○無條件講和を欲す
露國社會民主黨の決議

露國社會民主黨は其の會合に於て無條件講和を要望するの決議を爲したり其の決議大要に曰く『臨時政府をして是を列國に聲明せしむると同時に又協商國に對しても無條件講和を承諾せしむべし露國は開戰當初の目的を抛棄して可なり』と此の社會民主黨は軍隊と關係深きものなり(露都電報)

○巡閲使督軍署理新任

陸榮廷氏は兩湖巡閲使に陳炳焜氏は廣東督軍署理に任命せられたり(北京特電)

○印度公債好況

印度公債募集は日印貿易上利便多きを以て我國にて應募者多數に達せん見込みなり(東京電報)

○獨領事寄港

支那を退去せる獨逸領事一行四十七名は十一日和蘭汽船にて長崎に寄港し十二日出發桑港に向へり(長崎電報)

○支那參戰如何

[illegible]り黎總統の持重、馮副統の反對あるのみならず民黨派の如きも近來死角[illegible]地步を論じて反對するもの(二)力爭派 新舊國會の如く宣戰の危[illegible]別重要問題は須く最慎重を以て進行[illegible]互魁として八方に勸說し最近復た衛[illegible]贊せざるが如し此外民間側に於ては[illegible]策と信じ居る模様なれば其宜職に到[illegible]

[illegible]臨長田氏所長を兼任し數日前在留獨[illegible]睦なる東事縣の住民數は[illegible]七千五百餘人を算し昨年より數百人を增加[illegible]

朝鮮產品に對する貸出額

品名	數量	貸出金額
籾	三五五、二八四石	四三七、六九〇圓
玄米	九〇、七七九石	二、七六三、六〇五圓
白米	九〇、七七九石	九〇三、一五八圓
大豆	一三四、四六六石	九〇四、六六一圓
雜穀	七六、四六六石	四八五、二二八圓
牛皮	四六三、六〇〇斤	二四二、三九二圓
麻布	二一、四二六疋	八二一、三三三圓
綿花	五四六、三〇〇斤	八九、一一三圓
明太魚	五、三五五駄	二〇、五四八圓
海産物	五二、四〇三貫	四九、四二二圓
鐵産物	三四噸	二九、二四三圓
葉煙草	五二五、六〇貫	七五、〇五六圓
木材	―	―
雜品		三五二、九九二圓
計		六、四三五、四六〇圓

輸移入品に對する貸出額

品名	數量	貸出金額
穀類	五〇石	三〇〇圓
砂糖	四〇九俵	四、〇九四圓
鹽	三七二俵	三七六圓
木材	六、三一七才	四、三四〇圓
綿絲	三三五梱	六三、二三八圓
綿布類	七九、三二一疋	三五四、六〇八圓
絹布類	三、五一八疋	三五、一四五圓
雜品		一五六、四三九圓
計		六一八、五四〇圓

而して此の貸出總額を保管別に示せば倉庫業者の保管に係るもの百八十萬二千七百二十五圓、現物保管に係るもの五百二十五萬千二百七十五圓にして又た之を同月末現計不動産、有價證券、商品、信用等の總貸出額五千六十八萬千七百八十七圓に比すれば一割三分九厘に相當し尚ほ前月に對する貸出増減の割合は倉庫業者保管に於て十六萬五千九百九十六圓を増し現物保管に於て三萬一千六百二十九圓を減じ總計に於て十三萬四千四百六十七圓の増加を見たり

◎奉省政界不穩

最近奉天督軍兼任省長任命説と共に政界更動に關する種々の風聞あるも目下例の事變も一段落を告げ中央政府は張作霖氏の手腕に信頼し居れば當分奉省政界には何等の變動なかるべしと觀測さる(奉天一…)

◎農工債券發行事情
特別低利資金の農工業融通

漢湖農工銀行外五農工銀行が年利五分七厘額面相當額にて農工債券

▲二百萬圓 を發行し大藏省預金部の融通する資金にて東拓金融部其の全部の引受けをなす事は昨報の如きが發行事情に付聞くに近時一般より營農改良上の施設たる水利灌漑耕地整理並に勃興せんとする工業上の資金の需要は東拓は勿論各農工銀行に對し頗る多忙なるものあり現に漢湖農銀の如き目下の申込みは七十萬圓以上を受け居り慶尚全州光州等南方の農銀も夫々少からざる農工資金需要の申込みあり然るに一方各農銀の手許は如何と見るに若干額の遊資は何れも之れを抱き居れど偕て低利の農工資金を長期に供給せんには素より資金の不足を感ずる事切に付早晩何等かの方法により農工債券を發行し資金の充實を企圖する必要あり總督府度支部當局にても其の等閑に附すべからざるを認め早春來特別低利農工資金の融通を大藏省預金部に交渉を開始し今回

▲破格の有利 條件にて其の成立を見たるものにて各農銀が來る十六日其の現金の受授を東拓との間に行なひて後も其の貸附は素より低利長期の農工資金に限らるゝ條件を嚴に附しあり殊に水利組合金融組合等の公共團體には頗る低利の貸出しをなすべし從つて農銀にて右資金を短期の商業資金其他には絕對に貸附け得べきものに非ず世上早くも有利の農工債券發行を各農銀が行はんとするを知り頗る低利に農工業ならざる方面よりの資金貸附を求め來る者多しと聞けど無論之等には振向くべき筋合の資金にあらず尚ほ今回の農工債券は十七箇年年賦償還の關係上額面を二千五百圓とし八百枚發行する事となるべしと

▲漢湖農工銀行 にて十六日發行する農工債券は五十萬圓なるが其の使途に就き銀行當局の談によれば右の中十萬圓は四月中に明治四十二年公募し居る第二回七分利附農工債券十萬圓の償還を行ふべく農工資金として貸附け得る金額は四十萬圓となる而して目下資金貸附の申込み甚だ多く今後も愈々繁かるべき見込みにて四十萬圓位にては又直ちに不足を感ずべきも當座の求めには應ずるを得べし云々

◎貯藏庫の增設
石首魚貯藏の爲め群山に設置

總督府にては前年度に於て仁川に魚貯藏所を設置せるが其の成績極めて良好なるより本年は更に之を群山に設置し石首魚の模範的貯藏を試み民間斯業の勃興を勸誘獎勵して以て需給の調節を計り併せて同漁業の發達に資することゝなれり從來石首魚は漬物調味料として鮮人間に多大の需用あり漁業地は全羅南北其の他西海岸一帶に亘り就中三大漁業の一として漁獲高明太に次ぐの狀態なるも其の漁期は五六七八の四箇月にして魚類の腐敗し易き夏季に相當するより貯藏困難を極め爲めに供給地と需要地間は勿論盛漁期と需要期間には魚價に多大の相違あり最盛漁期の如きは百目六七厘を出でざるも漬物季節即ち其の需要期たる十一月の交に至れば同地方に於て三錢五厘京城に在りて五錢以上を唱ふるのみならず豐漁一時に到れば腐敗に歸せしむること珍らしからざる狀況なるを以て之れが貯藏事業は同漁業並に其の需給の關節上刻下の急務といふ可く扨てこそ前記計畫を見るに至れる次第なり

にて總督府にては五月末までに竣成せしむ可く目下設計を急ぎ居れり

◎法政校友會招宴

法政大學校友會朝鮮支部に於ては十二日午後七時より入京中の同大學々監法學博士乾政彥、前京都地方裁判所判事田中汎政及び總務總監部參事官岡本惠三郞、土地調査局監查官岡村政治の四氏を清華亭に招待し校友會を兼ね饗宴を開き主客數を盡して十一時過散會せり

山東線車中より
四月六日 韓相龍

濟南は山東省の首府にして齊の姜太公の封ぜられたる處に御座候城北に聳えたる山は歴山と稱し舜帝に遊耕し親ら耕作して其撫綏を示せしに由るか田野能く開拓せられ居り候然かも餘り廣濶に過ぎ且つ肥料不施の爲め其收穫比較的少しと申し候當地は各國居留地の制度を設けず商埠に内外人雜居致し居候模範商埠として其施設は支那政府之をなし市街は整然と致居候當地には日本人二千四百を有し山東鐵道は勿論帝國の經營にて日本の紙幣も通用致し萬事至極便利に御座候數十日間の外國旅行も當地方に來りては宛も内地旅行の心地有之候只今青島へ向ひ進行中に御座候

臨祭視の兩氏は來る十八日孰れも京城出發赴任す可し

人事消息

▲原田朝郵社長 十二日夜歸京▲尾崎滋氏(貿易商)▲阪本文一郎氏(同) 同上朝鮮ホテルへ▲山本文介氏(滿鐵々道病院長) 同上矢島旅館へ▲森脇氏(辯護士) 同上▲若林彌一郎氏(三菱東洋課技師長) 十二日朝入京巴城館へ▲河内穀太郎氏(鐘工業)▲淮谷常作氏(會計檢查院書記)▲天木岩太郎氏(同) 十二日夜退京

南言北語

何うかと思つて見て居たらボツボツ獨探が例の手で米國を荒し出したらしい▲ペンシルバニヤの軍需品工場が爆破されたり華盛頓政廳破壞の陰謀計畫もあると云ふ段々物騷になつて來た▲其うかと思ふと此方ではブラジルが獨逸と國交を斷絶すれば勃牙利も己れ取けるかと云ひさうに米國と斷交した▲最う益々以て世界の殆んど國と云ふ國は歐洲戰爭に關係せない處はなくなつた▲其れを一手に引き受けた獨逸は敵ながら天晴れだ▲が蜂の巢を叩き落した樣に獨探や海賊船が到る處で荒れ廻るには何の國も聊か手古摺らざるを得まい▲米國も五十萬の兵隊を出すなら早くせねば戰爭も何だかカタが意外に早く付き相になりかけた▲革命後ウンとわらくなる筈の露軍が存外思つた程にもないし▲革命の花形役者であつた外相と法相との戰爭に對する意見も何だか衝突して居る樣だし▲殊に獨逸の宰相や社會黨にあやつられて居るらしい露國社會黨は無條件單獨講和の決議をしたし▲獨逸も食糧缺乏で日々に影が薄くなりかけたし▲唯英佛軍の前進で戰爭の氣分を保つて居る計りだ▲而し遅かりし由良之助が殊更遅く走せ付ける芝居かも知れぬ▲判官樣が切腹した後へ出掛ければ大した勞をせずに財産分配の時には走せ付けたと同樣の權利を得る事になるのだからナア▲金の在り餘つた米國では財政上の經濟よりも勞力上の經濟を考へるのは當然だ▲勞せずして過分の報酬を得んとするは誰でも餘り不可ではあるまい

◎岡野博士招待會

中央大學々員會朝鮮支部にては今回李王家典例調査の爲入京せし岡野法學博士(同大學理事)を招待せん爲田中地方法院判事石原京城府事務官等幹事となり十三日午後六時半より朝鮮ホテルに於て晩餐會を開き席上同博士の講演ある由

◎兩警視赴任期

總監部勤務より城津警察署長に榮轉せる谷川警視及び開城警察署長に榮轉せる森…

○英軍迫擊敵陣占領

ヘーグ元帥の公報に曰く『ヴイミー山背の北端に於て激烈なる夜戰行はれたり敵軍は同處に足場を支持し居たるも終に驅逐せられたり我軍は同山背東側面の敵軍を追拂ひ更に前進してフアムパウー村落及び其附近の防禦陣地を占領せり戰鬪は全戰線に亘りて繼續す(倫敦電報)

○ヘーグ元帥軍の大捷
捕虜一萬一千砲二百餘門鹵獲

ヘーグ元帥十一日夜の公報に曰く『目下暴風雪に拘らず引續き激戰あり我軍はアラスの西方五哩なるモンシーループリユー外郛に到著し午後其の北方及びヴイミー丘陵に轉戰して敵を掃蕩し我陣地をルーヴエルウアルの北方迄前進せしめたり捕虜一萬一千中將校三百二十五名重砲以下百餘門臼砲六十門機關銃百六十三門を鹵獲せり(紐育電報)

合服の夏物のロンースが來る!!

豫てロンドン チーガスト ドーミユル商會及内地各毛織物會社へ特約致置き候合服地、夏服地、夏外套地、御制服地等最も珍らしき柄合精良なる地質多數著荷仕候價格の儀は原料騰貴に對し極度迄切り詰めたる最低價を以て提供可申候間何卒精々御用仰付被下度奉希上候

京城南大門通 丁子屋洋服店 電話一二三・六九〇・二二〇番
釜山辨天町 丁子屋支店 電話三六番
元山本町 丁子屋出張店 電話二三二番
平壤南門町 丁子屋洋服部 電話二七番

市内は御一報次第見本持參 地方は御申越次第見本送附

クレバネツト
レインコート地多數新著仕候晴天も雨天にも至極妙紳士の必須品に有之候

英ネルセル單物地
珍柄品揃ひ居り申候

THE "PINE" PEN

紐育ピユヌル會社製 正十四金「イリジユーム付」ペン付特製パイン萬年筆

萬年ペンの善惡は決して其の名の新古を問はず各種萬年筆に付き經驗を有するものは何れも一得一失あるを知るべし弊社茲に鑑みる所あり特別の技能を有する植松製作所をして數種の萬年筆に付き其特長を採り工作せしめ完全無欠なる左記萬年筆を發賣するに至れり論より證據是非一本を購ひ萬年筆界の霸王たるを知られよ
▲當所發賣品は責任を重じ自然の破損は滿一ケ年間無料にて修理仕候

(イリヂユーム付は普通萬年筆の三倍の耐久力を有す)

特製パイン萬年筆 堅牢無比

定價 (繰出式萬年筆 インキ止式婦人用 インキ止式實用向) 金六圓八十錢(無飾) 金三圓八十錢(金飾) 金三圓八十錢(無飾) (押出式紳士向 インキ止式短軸紳士向) 金五圓三十錢(無飾) 金四圓九十錢(無飾)
▲各種萬年ペン精々廉價責任を以て修繕可仕候

賣捌元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
販賣所 京城本町三丁目 ウツボヤ書店

度を取る可く昔南軍加入を遲疑しれる支那は直に其態度を決定するならんと傳へられしも戰國加入には獨……様なり各督軍の意見を分類すれば(一)理論派 此派は獨副總統を首領として國際上の關係及び種々未來の……國仲省長の如く之れを政府外交の大失敗として當局を攻擊する者(四)積極派 雲南唐繼堯督軍の如く此の特……横疑派に屬し左右を顧慮して適確なる解決を與ふる事能はず唯だ梁啓超氏は主戰派の……を待たずして可なり國内の反對に到りては强壓手段を以て之れを强制すれば可なりを主張し……勉めつゝあり要するに支那國民の心理は對獨策は斷交を限りとして此上宜戰に一歩をも進めざるを保國の長……

▲長春獨人檢査 長春警察署内に獨人臨時檢査所を開設され……以て在留許可證を與へたり

▲東寧縣の鮮民 吉林省の東……の結果徴兵忌避の爲め新く縣長に逃走し來れる者なりと(奉天)

◉露都革命實見記 —四—

▽ホテルの五階で餓鬼道の苦み△
▽停車場前大廣場の大市街戰△

露都ズナメンスカヤホテルにて 小田柳翠手記

○三月十三日(火曜日)

◇自分の居るズナメンスカヤ、ホテルの食堂では昨夕革命軍の爲めに食料品の總てを徴發せられたので何一つとして口にすべき食物が無い、拜むやうに賴むでやつとの事で手に入れたのが牛乳一杯、ホテルの門は革軍の警備兵が三四名で固めて居るので出入の者は皆身體檢査をうけねばならぬ

◇窓からのぞくと前の廣場は革軍策戰の中央本部となつた裝甲機關砲自動車が四臺、同じく機關銃自動車が三臺、傍には多數の兵士があつて方に官兵との對戰に備へて居る、

◇自分は餘りの饑渴に堪へ兼ねてまだ銃聲の開かぬを幸ひ一先づお向ひのセウエルナーヤ、ホテルに鮮銀の提君を訪ふことにする。

◇空腹を抱てホテルにつくと此處にも亦警備の兵士が居つて身體檢査は最も嚴重である、而し自分がヤポンスキー(日本人)だといふので割合手輕に濟むだものゝさて宿のエレベーターは些とも動かぬ、それで止むを得ず一息に五階まで驅けのぼる

◇提君の室を見ると見知らぬ邦人が二人居る、そして荷物は全部荷造りされて三人共鳩首何事か凝議中であつた、見知らぬ二人は大阪增田合名會社の岡田氏及び土持氏で二人共四五日前から此のホテルに投宿してこの騷動に出會つたのだといふ

◇自分は昨夜から今朝にかけての宿の出來事を物語り何か早く喰はせて呉れと哀願すると提君はまた情けなき相な面色で『イヤハヤ此のホテルは君等どころの騷ぎぢやない、第一君、此のホテルには數日前まで警視總監が泊つたといふので大した騷ぎ、現に昨夕五時頃から十二時頃までホテルの五百に餘る部屋といふ部屋は皆搜索されたのだ……』といふ

◇また夫ればかりでは無い下の部屋では凄まじい拳銃の聲を聞き、食糧品は徴發され昨夕來まだ何んにも口にせぬ……猶ほまたグズ〳〵すれば銃彈が見舞かも知れぬので昨夜は三人共比較的安全な岡田氏の室に集合して居たといふ

◇それでモウ斯うなれば致方もない唯だ此の上は空腹を防ぐ一方策として寢るべく靜かに座臥して居ようと屋外の觀察は交替でやらうといふことになつた

◇慘酷を語りつゝある裡に忽ちにして凄まじい砲聲は部屋の硝子窓を震動せしめ一彈また一彈ズドーン!!〳〵と響いて來る、ホテルの窓からそつと廣場を瞰下すれば自分の宿の前方に現はれた官兵の一隊に向つて革軍の機關他機關銃からパッパッ〳〵!!と火花が散る、官兵も擊つ、革軍も擊つ、兩軍共に街の電柱や樹木を小楯として擊つ〳〵盛んに擊つ

◇唯見れば革軍の兵士が十五六人バタ〳〵と倒れた、市民の三四名が悲鳴を擧げる、實に慘憺たる光景である、尤も此の市街戰は午前十時から十一時三十分までつゞいた最も猛烈な戰鬪であつて附近の民家も非常な被害、ホテルも亦數十彈の洗禮をうけたが吾等は幸ひにして免れた、因に兩軍の死傷者は通計二千三百餘人であつた

◉我が憲兵銃殺事件の眞相 森岡少將の談

靑島守備軍參謀長森岡守成少將は十二日郵船西京丸にて歸來せるが其の談に曰く山東省周村に於ける日本憲兵の銃殺事件の眞相は支那の巡警が强盜を追跡し犯人は日本附屬地に逃げ入り拳銃を以て巡警に反抗せる爲め巡警は賊の逃去りたる後に日本憲兵來りしを狙擊せるなりと(門司特電)

◉爲替手形二千六百圓を拾ふ

京城竹添町二丁目居住京城郵便局員古部某は十一日午後八時四十分頃南大門通四丁目自動電話附近にて現金七十圓及び爲替手形六通總額二千六百圓の證券在中の財布一個を拾得し直ちに本町警察署に屆出でたるが右は龍山精米所主執行猪太郎氏方の雇人遠藤登之助が遺失したるものと判明し十二日遺主は本町署に出頭し拾得者へ報酬金を提供して遺失物を受取りたり

◉馬賊隊國境を襲はんとす

對岸馬賊の巢窟とも云ふべき琿春奥地東寧縣に客月蜂起せる馬賊五十餘名は大仕掛の掠奪を爲すべき計畫にて客月中旬頃琿春に入込みたりとの報に接せり同地軍團長、知縣、巡警局長等は連署を以て市中に告示を爲し每夜十一時より拂曉に至る間巡警と兵士とより成る一隊は數箇所に屯在し警戒し居れるも未だ一名の馬賊も就縛せざるより一般人民は恟々として不安の念に驅られつゝありと

◉二人組の强盜逮捕せらる

十二日午前三時四十分京城花洞百八番地辛背館(三〇)方に二人組の强盜侵入し一名は小刀を持ちて入口に見張番をなし他の一人は强迫の上手提金庫を强奪して共に逃走せるが該金庫には現金二百五十圓在中せりと急報に依り鍾路警察署にては非常線を張りて犯人嚴探中十二日未明一名を捕縛し尙他の一名も午後一時頃遂に逮捕し目下同署に於て嚴重取調中

◉雇主の名刺で六百圓を騙る

仁川府内里崔應三方雇人崔常鉉(二二)は應三が栗木里反物商朱明瑞と取引先なるを知り四月二日應三の捺印ある名刺一枚を窃取し件の名刺に『金六百圓』と記入し之れを携へ明瑞方に到り主人の使なりと稱し一寸六百圓貸し呉れと申込みたれば明瑞は之れを信じて商業銀行仁川支店宛小切手形六百圓を振り出して交附したるより常鉉は同日正午商銀支店より六百圓を騙取したるが應三の申告に依り常鉉は同夜仁川署の手に捕はれ現金五百九十六圓餘を發見押收し目下取調中(仁川)

◉行商人を撲殺 死刑に處さる

咸北慶興郡雄基面雄基洞農禹烱命(三〇)は一月三十日夜自宅前を通り蒐りたる咸北鏡城南門外居住の筆行商崔相俊(二〇)を追跡し樫の丸太を以て同人を撲殺し所持金一圓四十八錢露國紙幣二枚を强奪して捕はれ咸興地方法院にて死刑の宣告を受けたるを不服とし目下京城覆審法院に控訴審理中

◈狂犬病は傳染する

昨今府内狂犬の被害あり當局は之が探索撲殺に腐心しつゝあるが尙該病は傳染するものなれば各自々己の飼犬に對しては時々檢病を行ふべしと因に府廳四月八日現在調査に由る府内の飼犬數は日本人千七百八十三頭鮮人二百十四頭外人九十八頭計二千九十五頭にして之を昨年十月現在に比較せば計に於て二百三十一頭の增加なり

◉我子を土中に生ながら埋む

忠南禮山郡揷橋面上下里西北端の貯水池の堤防より兩三日前鮮人女兒の屍體を發見し禮山憲兵分隊にて檢視せしに他殺の疑ひあり解剖の結果全く殺害したるものと判明し犯人嚴探中死兒は住所不定の姜姓女(三〇)の二女基同(二)なるより禮山郡德山面邑内里を徘徊中なる姜姓女を取押へ嚴重取調べしに同人は本年三月中禹化甫なる者を慕ひて同棲したるも基同が足手纏ひとなるを以て寧ろ殺害せんと四月二日午前九時頃前記の堤防上に深さ一尺乃至一尺九寸位の穴を穿ち生きながらの我が子を埋沒して遂に殺害したる旨自白したれば尙引續き取調べ中

◈鴇色の躑躅が咲き溢れて

◇美濃部鮮銀總裁の應接間

旭町の美濃部總裁の邸の應接間には眞ッ白い春の日がさしこむで居る。

◘靑い絨氈を敷かれた部屋の其處此處には綺麗な椅子に綺麗な卓子鴇色の躑躅は窓硝子の日をうけて暖かく笑ふ。總裁の奧樣は八日に來られた。孃さんでは

◘一番末の 綏子さん(六)といふ可愛らしい方が母樣と一緒に來られたきり、あとの兄弟四人の方は東京に居られるとのこと。總裁は灰汁拔けのしたさつぱりした態度で頻りに京城の氣候を褒められた。尤も暫臘の學校休みに

◘一家揃て 來ました時は三寒四溫のあてがはづれて一同顫へながら踊りました。しかし私がこれまで十三年間住み馴れた北海道よりも遙かによい……と語られる。家族の方では總領の熈さんが今年中學を卒業して高等學校の入學試驗準備中

（寫眞は總裁夫人と綏子さん）

◘その次ぎの洋次さんが中學の四年生、お孃さんでは俊子さん(一〇)が跡見女學校で雅子さん(一〇)が藝常五年生。北海道時代は家族はいつも東京に居ましたが京城には小さいのまで伴れて來ましたと云はれるお庭には千年の大銀杏樹と櫻の蕾がふくらんで居る

◉女優氣取りの鬘下地

盛んな藝妓芝居の前景氣

十三日から蓋を開ける壽座の藝妓芝居は初日を前に控へて十二日に舞臺稽古の惣浚へをやつた、振つけが鶴之助で長い間稽古に身を入れた丈あつて中々整つて居り、愈々本舞臺にかけるとしても左程見難いとは思はれなかつた、座の表構へ内部の裝飾は流石に人氣稼業の花柳界の催しだけあつて麥酒會社が力を入れ、綺麗に出來上つた、出演藝妓も大分乘氣になり頭も鬘下地かなんかの女優氣取りで鳥渡した話にも舞臺調子で行かうといふ凝り方で何れを見ても森律子村田嘉久子其處退けの勢ひだつた

◉太刀を負ふ曲者

全南羅州郡多侍面正加里張萬基は博徒なるが六日同面新石里の荒川若造方の勝手知り居るを幸ひに忍び入り豫てより赤銅造りの日本刀一口價格四十圓の物を盗み取り之れを以て先づ手初めに住洞市場の商人を劫かして强盜を働かんと例の太刀を脊中に隱し持ち待ち居たる處に羅州郵便集配人朴致大が來るを見て附近の酒幕業賢俊方に連れ行き酒を買ひてすゝめたれど同人は萬基の擧動怪しく殊に脊筋より刀の柄先見ゑ居るにぞ一目散に逃げ出したれば萬基も續いて追ひ驅けたり此時側にて之れを見居たる主人賢俊は此奴强盜ならんと思ひ恰も其の時來合せし附近の禹相顯外二人に旨を告げて同人を追ひかけ實山里にて追ひつき大聲を上げて格鬪を初めし故附近の住民も集まり來り大格鬪の末漸く縛り上げて羅州憲兵分隊につき出たり

◉千代田艦長謝狀

愛國婦人會朝鮮本部にては軍艦千代田乘組水兵の入京見學に際し茶菓の饗應をなせるに對し中川同艦長より釜屋武官を介して本部に宛て厚く謝意を表し來れり

金牌受領 男女頭髮用 本椿ポマード 本椿香油 本舗 大阪西横堀 三宅堂

◉國風音樂會

京城琴古流尺八研究會にては十五日午前十時開會三越吳服店樓上に國風音樂會を開き尺八本曲、箏曲、長唄等の演奏ある由

◉鍾路管内の種痘

京城鍾路警察署管内にては四月十二日より二十七日迄西大門町一丁目女子普通學校外十一箇所にて春季種痘を施行すべしと

◉高島通譯官寄附

高等法院通譯官高島五八氏は過般令閨逝去の際各方面より受けたる厚志に對し謝禮に代へて金五十圓を櫻井小學校に寄附したるが同校にては今回これを以て漢文大系廿二冊及上田萬年博士著國語大辭典一冊を購入したる由

◉英語講話會

南大門通一丁目京城靑年會に設立せられし英國倶樂部は每週金曜午後八時より外人の指導の下に開會しつゝあるが十三日午後八時よりスコフイルド氏を聘し英語講話會を開くとし、同氏は鮮明美妙なる幻燈を以て米國カナダの名勝地を寫し英語を以て之を說明する由希望者は來會隨意なりと云ふ

えんげい

◘藝妓芝居 新裝着の龜妓芝居はいよ〳〵十二日頭を以て舞臺稽古を終り十三日夜より華々しく開演すべし

◘黄金館開館 西田浪花節主の經營する事となれる黄金館は十四日より開館披露として約一週間一二等入場者に造花花扇三等客には初日各一個を進呈する

▲大正館 十三日より全部新寫眞と差替へたり快漢ロローは引續き上場 益々佳境に入れりその他の寫畫は左の如し ▲京劇伊太利寺院の賊▲滑稽活劇チャップリンの散步全二千呎▲京劇四月太郎全三劇▲快漢ロロー十二篇の内三卷上場▲新派悲劇女の半生高奴全五卷

▲有樂館 十三日より特別興行として全部新寫眞と差替へたりその主なるもの左の如し 悲劇名篇(泥になるまで)▲小きん新太郎はかなき縁全四卷

▲浪花館 女浪花節吉田奈良女、大阪親友派浪花節讀物廣澤虎吉の一行にて開演中

◉暴風警報(四月十二日午後三時發)

風强かるべし▲低氣壓位置支那東海北部▲低氣壓示度七百四十八粍▲進行方向東北東▲警戒區域京畿道、忠淸南北全羅南北慶尙南北江原道、沿岸及び内陸

大口歡迎 京城黄金町長橋町入口 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話六八·二六六番 振替京城二五七三番

書名	著者	定價
大字典	上田萬年外四名	特五、五〇
増補訂正漢和大辭林	芳賀剛太郎	特一、三〇
最近の南洋	井内秀次郎	一、四〇
新編肥料學全書	吉村清尚	三、〇〇
一家經濟生活法	加藤美命	一、二〇
所有土地臺帳	松木恒吉	一、〇〇
第一艦隊潜水艇と潜水戰	伊藤正德	一、八〇
修養第一	加藤玄智	一、二〇
蘇詩選詳解附詩源	土屋弘	一、一〇
正しき證書の書き方	安部安道	九〇
朝鮮臨一覽	朝鮮總督府	四〇
田尻博士講演集	江森泰吉	九〇
安全生活	橋本弘	八〇
古人に學べ	笹川臨風	一、四〇
禪のはらわた	菅原時保	八〇
漱石警句集	重山辰三	八〇
千葉心中	米山蟻花	九五
最新英語商業書翰文	德永秀夫	六五
哲人高山樗牛	西宮藤朝	一、〇〇
お八重	田山花袋	四〇
新劇指小舟	黒岩涙香	一、四〇

最新刊

菊苗 弊場は十數年の實驗に依り他に類例なき珍種を無數に蒐集し之が頒布に當りても充分の責任を以てし既に愛好家の高評を博し々たり培養法名鑑錄は二錢切手封入申込次第進呈す 大阪市外天王寺驛南一丁 猪子園藝場

京藝 家具 増田本店

頭分けには 二葉ポマード 美髮用煉香油 棒チック水油を要せず思ふ樣に調髮が出來ます お髮上にも大鍵な評判! 發賣元 大阪南久寶寺町 角倉支店 小間物化粧品店にあり 定價17.25.35

十三日より上場 大正館

新派 女の半生 高奴(全五卷) 告白をその儘脚色したので事實あつた事とは思はれない位不思議な運命に弄れた女の經歴でとても芝居や小說にて出來ない事實譚であります。

舊劇 日月太郎 眞田幸村の遺臣日月太郎の大活躍御馴染の目玉の松チャンの得意の豪傑傳であります。

活劇 第七 快漢ロロー 全編を通じ最も壯絶快絶なる忠僕ロローの活躍は愈々本編に依り其白熱點に達せり。寫眞の調摩にして内容の充實せるは日本活動界の權威日活會社の朝鮮代理店たる當館に限ります。

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千〇五拾五萬圓 株式會社第一銀行京城支店 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番) 支配人 西村道彦 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候 明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

鑛山用測量諸器械 京城本町 シンサキ

優等淸酒 一鶴 京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城二〇二六番

當世百道樂 ◎著者獨特の警の奇觀犀利の察現代の道樂を解剖し或は大に獎め大に戒め大に遊び大に笑ひ大に自省せしむる大文字深く強く現代を諷刺し搖覺せしむる近來稀有の快著也 (内容)一著者骨董道樂▲女道樂▲馬道樂 カフエー道樂●釣道樂●旅行道樂 大貯金道樂▲借金道樂▲素見道樂 火事道樂●寶口道樂●謠曲道樂 女中道樂▲相撲道樂▲活動道樂 大道樂●立喰道樂●園藝道樂 浪花節道樂▲茶道樂▲酒道樂 義太夫道樂等の百道樂 賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部 定價一圓廿錢 郵送料八錢 四六判優美布裝

堀内新泉先生新著

齒科材料並に機械販賣 陶齒製造 エム商會 會主 宮地醇造 朝鮮京城本町三ノ八四(商業銀行本町支店前入る) 取次電話二五九七番

觀相速成講義錄 ▲性相學泰斗石龍子先生講述(秘密開放) 大成功は適才を適所に用ゆるにあり己を知り人を知るは觀相に若くものなし此に天下の名人石龍子先生の講義錄古今此種出版物中唯一の物として大歡迎せらる今入會金全免及秘傳に關する大特典を附せり絶好の時期を逸する勿れハガキで申込ば進呈する 東京芝區芝園橋際 洗心堂

田中丸病院 京城西小門町二一番地(舊醫院跡) (入院隨意) 院長 醫學士 田中丸治平 醫師 上野和夫 電話八八五番

怒濤の月

百三十四　小林蹴月作　武内桂舟畫

根くらべ「廿六」の四

「身に適ひました事なら……。」と、絹代は物案じさうに、男爵の面を覗き上げた。憂きに苦勞にやつれ果た中にも、云ひ知れぬしほらしさと、優しい品のある美しさとは、又しても男爵の心に、亡夫人の面影を思ひ浮べさせずには濟まなかつたのである。

「身に適ふも適はぬもないのぢや。絹代、乃公とお前とが根くらべするのぢやよ。」

絹代には、何の事やら更に合點が行かない。今の今、お前の事は斷然と斷念して、お前の自由に任かせると公言せられた口の下から、「根くらべ」とは何の意味であらう？絹代は例の如く返答の仕樣に苦んで居た。

「はゝはゝ、根比べと言ふたばかりぢや分るまいが、乃公はお前の尼にならうと云ふ決心が、果して何れ丈までに堅固で、そして永續きするかを、長い目で試驗しやうと云ふのぢや。二年でも三年でも、乃公が心に成程是ならば……と、得心の出來た時があつたら、その時初めてお前の事を、眞實に明確に斷念するのぢや。」

「……まあ、御前樣、それでは只今妾へ仰せられましたお辭は、一時の御戲談で御座いましたか？。」

「いや、決して戲談ぢやない。斷念は斷念ぢやが、假の斷念なのぢや。眞の斷念は、今も言ふた二年なり三年なりの光陰を過ぎてから後の話ぢや。」

「致しますと御前樣、妾の身體に什う成れと仰せ遊ばすので御座います。」

「什う成れとも言はん。お前の任意ぢや。此の寺に居りたくば居つても宜しい。お前が又、行きたい所があるなら、行つても關はんぢやが、但し、乃公の眼の届く範圍内に居て貰ふ丈の事は約束せにやならんぞ。その約束に就いて、お前は丈夫頭を横に振りはすまいと、乃公は豫じめ念を押して置くのぢや。」

「什うしても御前樣の仰せ遊ばす事が、おろかな妾には、合點致しかねますで御座います。御前樣……お願ひで御座いますから、も少し分り好いお辭で仰被つて頂きたう御座います。」

絹代の分りかねて居るのも、其筈無理はないので、要するに、男爵の考へでは、斯うした難題を持ち掛けて置いて、何等かの大なる復讐を爲てやらうと云ふのに違ひないのである。

「まだ分らんと言ふのか、お前は。分らんならば分らんに爲といて、お前自身の決心通り進んだが好いのぢや。乃公は只無言の人となつて、何時までもくお前の身邊を監視して居る丈の事ぢや。刑の執行猶豫を與へられた罪人と見做して、お前の身が最終局を見屆けて遣るのぢや。その代り、食ふ事と著る事の世話は、乃公が何の樣にも爲て、乾度引受けて遣はす。」

「…………。」

絹代は、愈々迷ひに迷ふのみであつた。幾度か、心を鎭めて、思案に思案を爲換へて見るのであつたが、什うしても男爵の眞意を汲み測る事が出來得ずに了つた。下世話に云ふ「蛇の生殺し」の責苦を受けさせやうと云ふ男爵の心組であるかも知れぬとは、おぼろげながら氣付かぬでもなかつたが、それにしても、氣の短かい男爵の遣り口としては、餘りに事が緩漫過ぎるやうでもあるし、又莫迦々々し過ぎた策略のやうにも思はれてならなかつたのである。

「絹代、乃公が直接お前に言ふべき語も、最早是までぢやよ。それでも萬一、お前の方に異議があるなら、乃公が老僧と碁を一面鬪はしとる間に、能く熟考して見るが宜しい。」

男爵は、暇もなく言ひ捨てゝ、既での事座を起たうと爲られた。

「もしッ、御前樣、少時お待ち遊ばして下さい。異議があらうにも無からうにも、更に御前樣のお心持が妾に分りかねますので御座いますから……何とかいま少しでも妾の胸に落ちますするやうなお語を承はりました上で、何方かの御返答が申上げたう御座いますが……。」

「ふゝむ、絹代、お前も怜悧に似合はん娘ぢやの。是位の事が分らんやうでは、とても佛の道を悟れるもんぢやない。然しぢや、強て聞きたいと言ふなら、唯た一語丈打明けて遣はすが、絹代、も一尺ほど前へ膝を進めなさい。」と、男爵は手招き。（

芝居に行くにも木村屋パンを忘れちやいやよと妻の聲　（京城明治町 電二八七〇）

西洋料理「帝氣すき燒」ハイカラ丼　おいしい京城第一との高評を博し居り候　南大門通 電話二五七一番　カフヱータイガー

□上海の奇妙なる現象

京都大學講師富岡謙藏氏は八日朝神戸入港の郵船「熊野丸」にて上海より歸來せるがその談に曰く「上海は七年前曾遊の地であるし又今回は徐乃昌、劉承幹、張石銘等の地方富豪が多數の古書や古器類を持つて同地に集まり書籍は碩學の譽の高い繆荃孫によつて出版されて居るといふのでこれ等を一見するため二十日間程同地に滯在したのであつたが最も

◇面白く感じた　のは徐乃昌氏が愛藏して居る古鏡五百餘點の中に我京都大學に蒐集して居る品より優つたものが一つも無かつたことである滯在中に浙江省に入つて杭州及び蘇州の變遷を見たが彼の殷賑を極めて居た蘇州は革命戰亂以來全く衰微して仕舞つて居るのに反して杭州の繁榮は非常なもので全く隔世の感があるその代り古來有名な杭州西湖の風光は赤煉瓦と金文字の建物で

◇全く破壞され　盡して萌ゆる楊柳の芽の香る時季であるのに更に昔の面影もなくなつて居た又上海で最も勢力のある邦人は各會社銀行の支店長と洋妾とで洋妾は何れも邦人と或る關係を有つて居るので小商人はこれ等洋妾の手を經て僅に百萬の金融機關を利用し得る頗る奇妙なる現象を呈して居るそれで試みに小學生徒に御前等は大きくなつて何になるかと聞くと男生は支店長に

◇女生は洋妾に　なるのだと即座に答へるこれを見て同地在留邦人の狀態を窺ふことが出來やう」云々（大阪來電）

□停雲（合詩集）

次麥湛宋老見寄韻　松[illegible]

弓月一痕行不齊。喞々叫彫低迷。邀來網蹴愁雙顰。何處雪殘爪印泥。

東門城壁陽風塵。杖策尋郊郊色新。陌上妃墓閒唯松翠。不見當年紅粛寺春。

隔擁松兒。散策于東門外。有作末句曰「晝靜風暄二月春」余思京城春色遲於東都百有餘日。是稀有之好日也。余故別有作。用其韻。以博一粲。之亭曰　無一點塵浮　之亭曰　寫得景物早候。一切飜膽

―完―

新刊紹介

▲水產界（四月號）　歐洲戰亂と重要なる水產問題（藤田經信）水產に關する特許分類目錄及び說明「木村金太郎」コレラ菌と魚類の研究成績（同）其他（二十五錢東京赤阪溜池大日本水產會）

▲都會及農村（田園趣味號）　鑄明に現はれたる田園趣味、田園趣味通信十二篇其他十數の記事悉く田園趣味橫溢す（十五錢東京麴町平河町五の三帝國農會）

▲農村雜誌（四月號）　引續き未曾の盛況を呈する所以、大正五年の天候變調に就て、製糖の害虫防除法を指摘せる外十數の記事如例（八錢東京麻布本村町二一一帝國社）

▲大陸婦人界（四月號）　問題の伯爵若夫人なる題下の淨曹政太郎、矢島楫子、澤田和民、下田歌子、與謝野晶子五氏の說は各家庭の一讀を要すべき好文字にして子供のおやつの研究は育兒上の必讀文字たり其他家庭の新醫學（高島平三郎）一夫一婦は人間の常道（井上博士）子供の病に對する私の經驗（大和田龍子）益々強める離婚に就て（宮田修）等見る可きもの多く奥様大評判記・四月の試立裝・文苑等如例小說には榮紅のお役人あり（二十錢京城太平通二共社）

▲婦人畫報（四月號）　畫報には名家令嬢、新郎新婦及び時事、家庭其他の寫眞數十如例記事には朗読の三題（三宅博士）女學校卒業生へ（新渡戶博士）にきびと皮膚の衞生（山田博士）私の娘を結婚させる迄（菊地幽芳）四月節かたり（佐々木博士）等を初め季節向き各種の記事を滿載せり臨報雜誌の上乘なるもの（三十錢東京々橋疊町一東京社）

▲雄辯（四月號）　佛教と歐洲戰後の國際道德（服部博士）予と基督教（山路愛山）論文生活臨（前田一）朝鮮陰謀秘錄（平井晚村）等を初め拙腳の研究、從議機器、懸賞五分間演說等如例（三十錢東京本鄕駒込坂下町四八大日本雄辯會）

▲婦女界（春季特別教育苦心號）　今日の時勢上何人も最も痛切に感じつゝある子女教育の問題に就て苦心の實例十數篇及び鳩山、棚橋、大久保、三輪田、澤村など諸名流の教育論みの初め例によつて主婦の實際的讀物を滿載し口繪には清方氏伯の二頁大額面用の美人畫を附せり（二十五錢東京二錢ｲ込區加賀町北社）

▲農家（米麥增收號）　各專門家實際家の執筆に係る米麥增收に關する各種の記事及び家庭、文藝其他各欄見る可きもの多し（十錢東京神田錦町三の八農友社）

▲青年文壇（四月號）　新小說作法（田山花袋）所謂通俗小說に就て（柳川春葉）名士と書翰（尾崎行雄）等を初め文壇いつもながら盛也（十五錢東京牛込新築町一の一文壇社部）

商況

下關期米特電（十二日後場）

大阪期米（後場）　十二月　一五、六〇　一五、九〇　一六、四〇

後場高保寄付十六圓三錢△中値寄付十六圓八十三錢

に新規に買物多く五錢と返したるも大阪止七十七錢と安移りに賣物益多く遂に十三圓の大關門を打破し十二圓九十九錢まで崩れたるが目先利喰に安へ〇二錢と返し一錢と反落不學の成行を示し散會

▲後場の手振

重なる商内賣方に六千石買方五千石

▲金能く買る　後場は前場に引續き鮎川と新規買物多く前日の安値下迴りを見るに至りて保合續れの惧あり期近も今後の成行如何る持米筋の響きなりとの說あり

賣先は玉鐵四千餘石の買ありたるは注目を惹いたり

大阪期米は後場に至つて大阪の止安移りに遂に前日の安値十三圓〇二錢を下廻り十二圓九十九錢の賣安値に崩れたるも目先利喰に安へ〇一錢と返して散會を告げたるか市場の形勢は既に賣物多く[illegible]

▲後場　中限十三圓七十九錢四錢七十四錢◎七十四錢三錢二錢平均値段七十三錢　先限十三圓〆六十一錢四錢五錢四錢五錢◎四錢二錢四錢二錢四錢三錢

相場　高値十三圓〆六錢　安値十二圓九十九錢　出來高二萬五千八百石

希望に滿てる四月の新學期

學生諸君は、この大切なる時にあたつてますます身体を强健にし、ますます勉强せられんことを望みます。しかしながら此二つを實現するには、身体健康の第一要素たる齒口衛生の完全を期するため、信用の厚い、効力の確實な、

ライオン歯磨を

毎朝毎晩お使ひにならなければなりません。

ライオン自磨本舗　ライオン石鹼　東京本所區外手町　小林富次郎　支店　大阪市[illegible]　名古屋市[illegible]

（6—768）

りん病　消渇で困る方　多年のもの　慢性も
自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試よ此藥は他の藥店になし切手三錢送一日も早く申込あれ其良藥と自宅治療の詳細を教ゆ
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

ルーデサツク
▲花柳病自宅療法　第一進呈
男用一打四拾錢上製六拾錢
綾形持ぎ一個參拾錢女用一個七拾錢月經帶一個八拾錢壹圓各種（送料共）
京城永樂町二丁目交番北　東京ドラツグ商會滿鮮本部

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四一番
內科　小兒科　入院隨意
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏
無料施療す　毎日五名を限り

花柳病專門　外科
●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●痔病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱●ヒステリー●六〇六號注射●包皮手術●子宮內膜搔爬其他手術
京城南大門通農工銀行裏　毎日
司生堂醫院

金泉醸泉間自動車發着時間
上り　一番　二番　下り　一番　二番
金泉發　龍宮發　成昌發　醴泉着（前八、三〇　九、二〇　一〇、〇〇　一一、〇〇　後一、三〇　後二、〇〇　…）
醴泉發　成昌發　龍宮發　金泉着（前八、〇〇　九、〇〇　…）
▲小荷物運搬仕り候　金泉電話四八番
金泉織居自動車支部

大邱浦項間自動車時間
上り　大邱發　河陽同　永川同　慶州同　安康同　浦項着
下り　浦項發　安康同　慶州同　永川同　河陽同　大邱着
浦項七時　電話一二七番　大塚農場自動車所　大邱出張部

阿波共同汽船仁川出帆
◎伏見丸
○芝罘、大連行　關東都督府命令船　日午後入港　日正午出帆
郵便物・貨物・旅客取扱仕候　大連に於て貨物は各地行荷物取扱可致候
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部　南大門（電話二六八二〇）
京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　和歌浦丸　四月十五日後五時出帆
○立神丸　四月廿六日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　四月廿五日後十時出帆
○和歌浦丸　四月十四日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　四月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　四月　日後六時出帆
○佐須奈、巖原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船出帆
○江原丸　○京畿丸　○黃海丸　○咸鏡丸　門司より釜山各浦寄港基隆航路　四月廿三日　四月十五日　四月十九日　四月廿九日　釜山發
○穩城丸　○昌平丸　○鏡城丸　元山より各港經由浦鹽行　四月十四日　四月　日　四月廿三日　元山發
○昌平丸　咸鏡各港寄港行　四月　日　元山發
○盈德丸　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行　四月十六日　釜山發
○江陵丸　○慶陽丸　長生浦方面寄港　毎日　釜山發　浦項發
○三浦丸　長承浦、統營、巨文島、濟州島各寄港　四月十二日　釜山發
○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶寶丸　各港經由麗水行　毎日　釜山發
○平壤丸　鎮南浦、元山行　四月十二日　元山發
○慶天丸　各港經由麗水行　二日目毎に　木浦發
○慶興丸　各港經由濟州島行　四月十七日　木浦發
○慶興丸　南多島、海列島行　四月十三日　木浦發
○公州丸　各港經由濟州島行　四月十五日　木浦發
○江原丸　芝罘、大連、青島行　四月　日　仁川發
○麗水丸　○晉州丸　各港經由木浦行　四月十二日　四月十八日　仁川發
○宗信丸　海州他各港寄港龍岩浦行　四月十六日　仁川發
○全州丸　○南陽丸　江華島、喬桐島、海州行　毎日午前　仁川發
京城南大門通京城支店・各取次店　松原運送店（電話長一七〇番）

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸　四月十四日午後四時出帆
○秀吉丸　四月十七日後四時出帆
○君が代丸　四月十五日後四時出帆
○神代丸
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽（天津）牛莊行
○相模丸　四月廿一日正午出帆
○三河丸　四月十二日正午出帆
○診訪丸　四月　日正午出帆
仁川海岸町　電話十一番　郵便回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、馬山、下關、門司、神戶、大阪行
○信濃川丸　四月廿五日後五時出帆
○天智丸　四月廿二日
○釜山、橫濱行　福州丸　四月十五日後二時出帆
○群山、木浦、釜山、統營、巨濟、馬山、長崎行　安東丸　四月十四日後二時出帆
○安東丸　五月二日
○福州丸　五月九日後二時出帆
○鎮南浦、大連行　安東丸　四月廿七日後二時出帆
○南浦、群山、神戶、大阪行　須磨丸　四月廿日後二時出帆
○大連直航　福州丸　五月三日　廣州丸　四月廿六日　正午出帆
◎清津行（元山出帆）　平安丸　四月廿三日後十二時出帆
◎宮島丸　西湖津新浦城津清津行（元山出帆）　四月廿九日後十二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　北陸丸　四月十五日前六時出帆　基隆丸　五月一日
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二三番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　電話二六一番